

Aidemy Business のご紹介

AI/DX人材育成 e-learning



会社概要

名称	アクセンチュア株式会社（Accenture Japan Ltd）							
創業(事務所開設)	1962年							
資本金	3億5千万円							
従業員数	約29,000人（2026年3月時点）							
ウェブサイト	www.accenture.com/jp							
代表取締役会長	江川 昌史（兼 アジアパシフィック共同CEO）							
代表取締役社長	濱岡 大							
取締役	関戸 亮司（兼 アジアオセアニアCEO / アジアパシフィック共同CEO）							
代表取締役副社長	立花 良範 土居 高廣							
取締役副社長	五十嵐 慎二							
取締役執行役員	竹田 絵美							
監査役	ソウ・ケネス・アルフォンサス（Kenneth A. Seow）							
常務執行役員	金若 秀樹	黒川 順一郎	戸野本 時直	永田 満	中野 将志	原口 貴彰		
	ジャンーミッシェル フェレル		保科 学世	堀江 章子	水田 響	和田 哲彰		
執行役員	秋下 浩	上野 正雄	海老原 城一	大浦 三生	大野 豊	沖村 啓太	金森 崇宏	小池 純人
	柴田 尚之	高橋 美奈子	瀧澤 明良	立石 英司	田中 慎二	野本 義博	原 仁志	小林 珠恵
	藤井 大翼	本徳 亜矢子	町田 絵里	薮下 幸繁	山根 圭輔	渡邊 嘉英	廣瀬 隆治	

2026年3月時点



提供サービス

全社まるごとDX推進パートナーとして、**貴社のデジタル変革を加速し、一気通貫で実現します**

リテラシーの底上げ

危機感醸成セミナー

 **Aidemy** BUSINESS

Part of **Accenture**

AI/DX人材育成e-learning

「わかる」から「使える」へ

 **Aidemy** PRACTICE

Part of **Accenture**

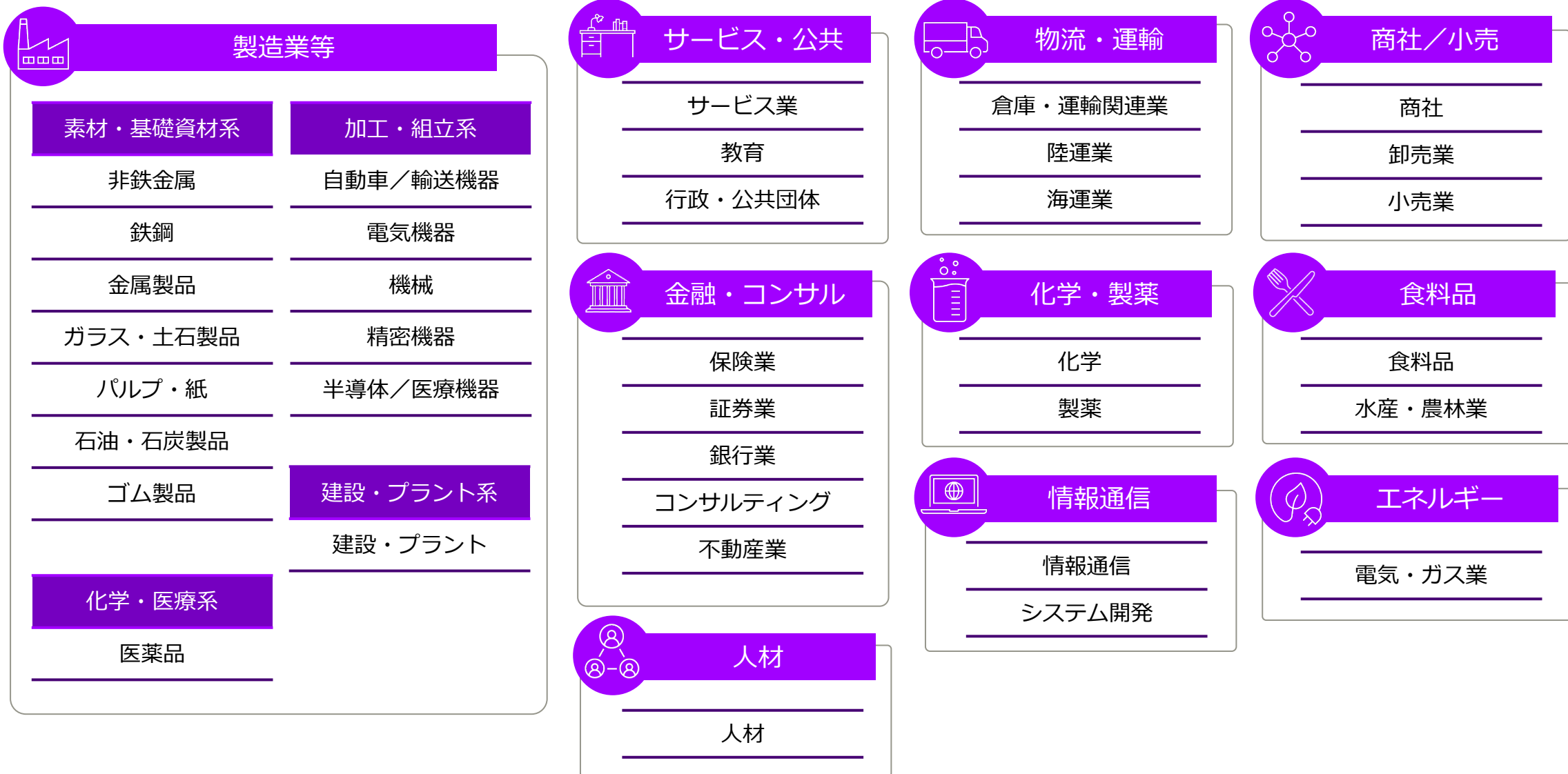
AI/DX実践型研修

手を動かすアウトプット実施や、講師からフィードバックを得ることで
座学で学んだ”知識”を実務で使える”知恵”へと昇華

 **DPAS**
Part of **Accenture**

DX推進力の可視化アセスメント

導入実績 – 多様な業界で選ばれています



Aidemy Business

AI/DX人材育成 e-learning



イントロダクション

DX化されている状態

DX化されている状態

組織の
遂行能力が高い

デジタルを強みとして
活用している

結果として

他社が模倣できない
自社独自の強みを持つ

変わりゆくビジネスの
競争環境に適応できる

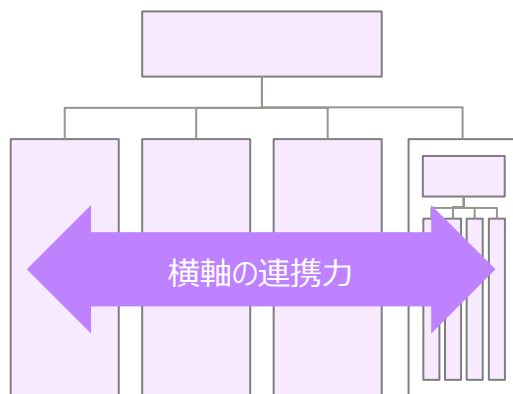
DX化されていないと

市場の変化に適応できず
競合企業に遅れを取る

ノーマークだった
デジタル力のある企業に
市場シェアを取られる

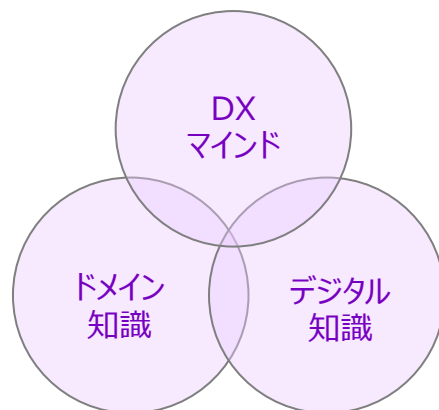
組織体制

縦割りの中にも
横連携があり
全体最適で動ける体制がある



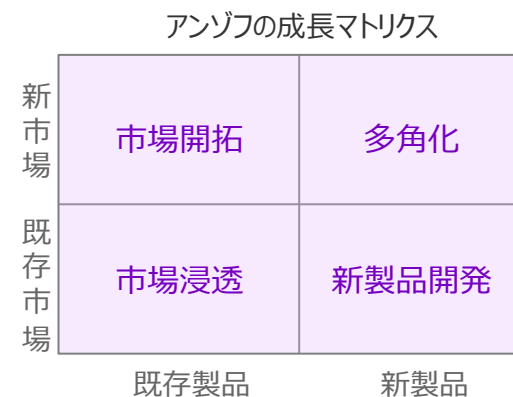
全社員のリテラシー

変化スピードを理解し
業務で「ドメイン×デジタル」を
活用できる力がある



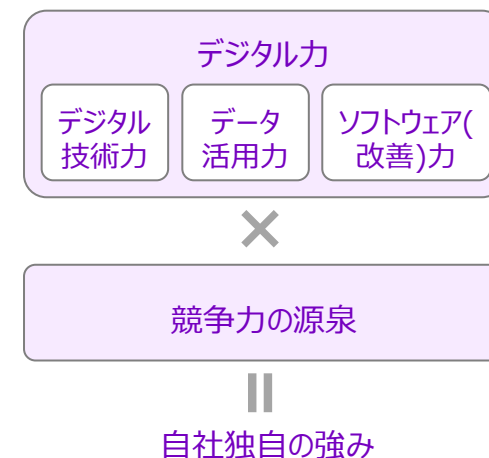
事業戦略

自社の競争力の源泉を軸に、
環境変化に応じた
事業戦略を持つ



デジタル力

競争力の源泉となる領域を
内製できる
人材とノウハウがある



全社的なDX推進における障壁

DX人材の割合が少ないため、DX推進が難航

社内の
人材割合

【該当レベル】

DX推進スキル標準
- 6人材像

DXリテラシー
標準Z

DX
人材

エキスパート

アドバンス

エントリー

DXリテラシーのない
Not-DX人材

エキスパート人材の採用/育成
だけではDX化が進まない



エキスパートのDX人材

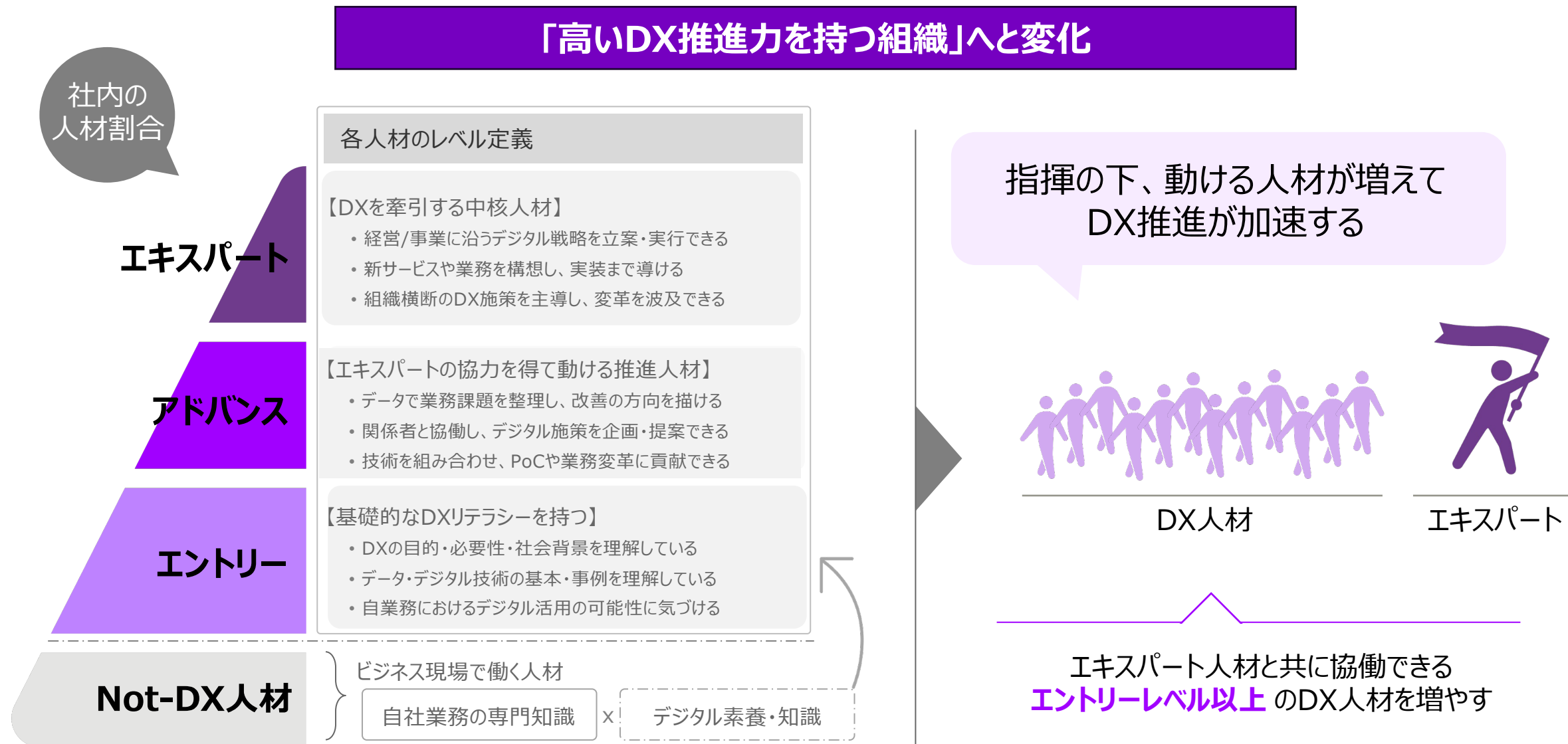
業務改革

事業変革



Not-DX人材は、指揮を受けても動けない

Aidemy Business導入後のイメージ



イントロダクション

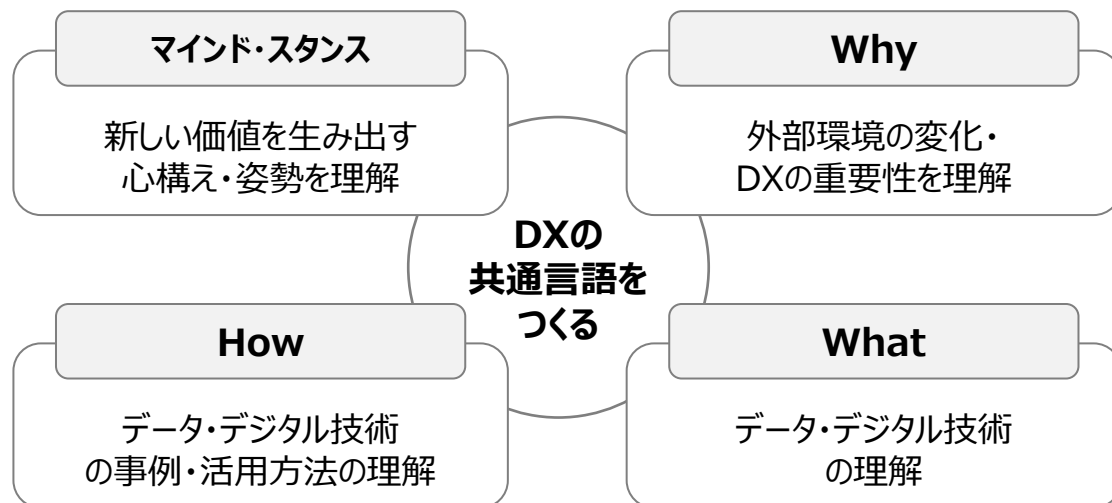
DSSスキル標準

経産省が提唱するDX推進に必要な人材像

参考：経済産業省「デジタルスキル標準ver.2.0」https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/skill_standard/img/digitalskillstandardver.2.0.pdf

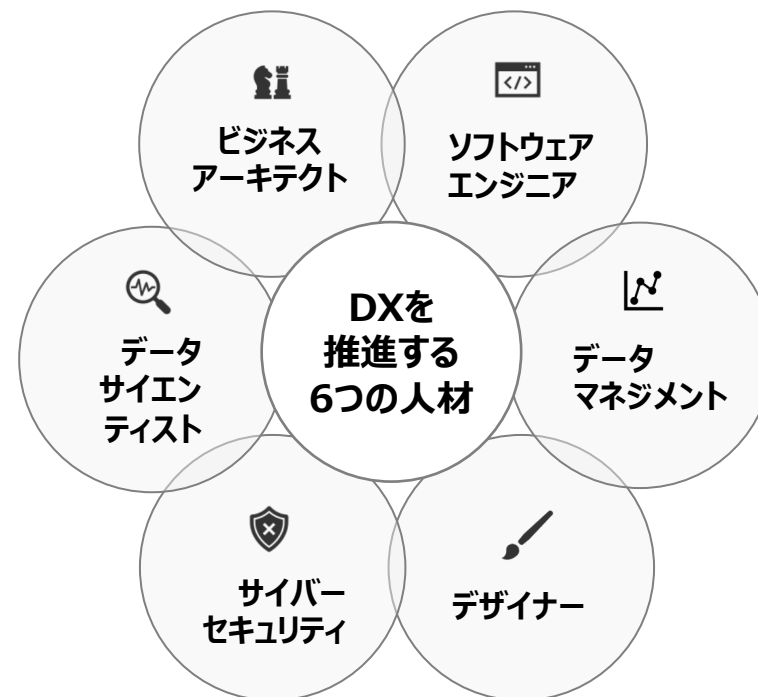
DXリテラシー標準

一人ひとりがDXに参画して、
成果を発揮するために必要なリテラシー



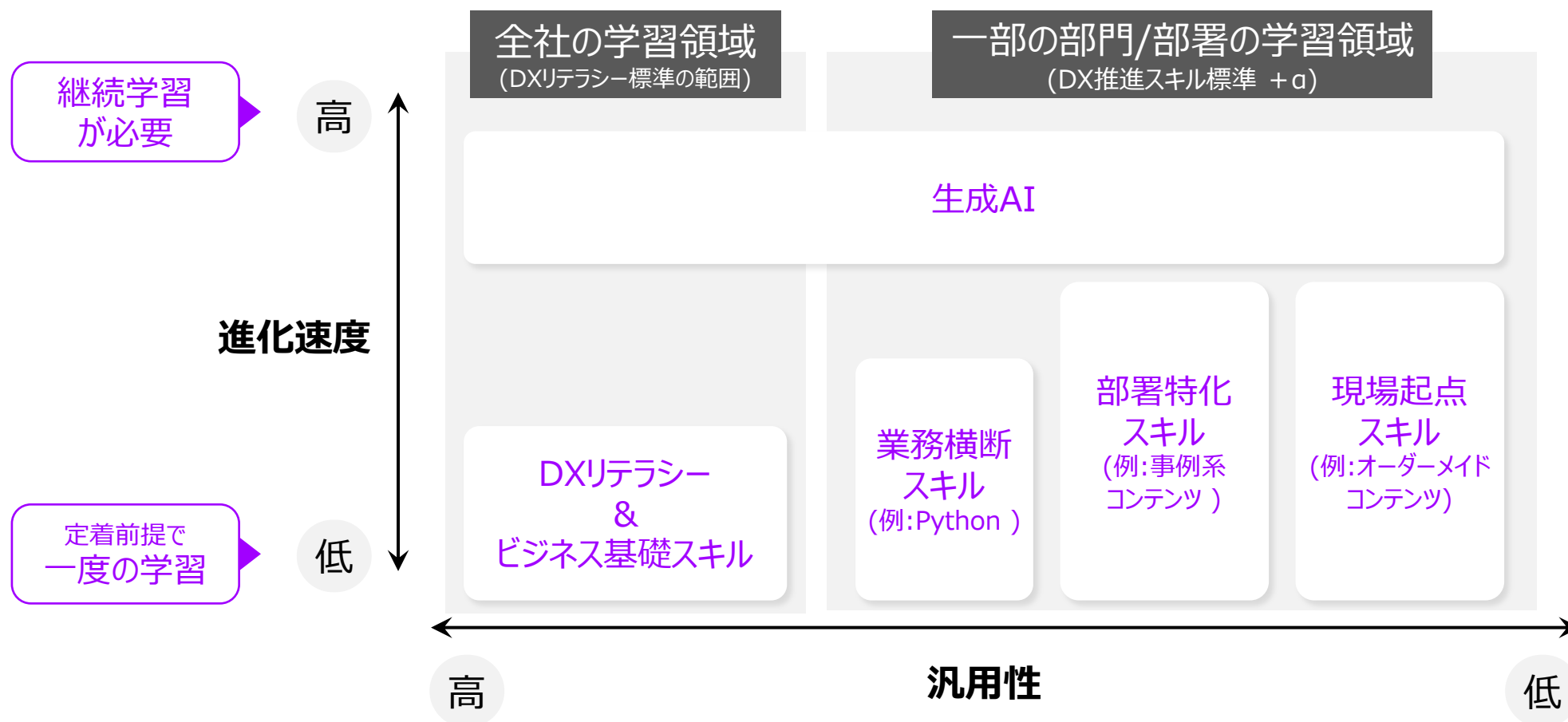
DX推進スキル標準

DXを推進する6つの人材像が担う役割・スキル



“進化速度 × 汎用性”で考える、スキル別育成の考え方

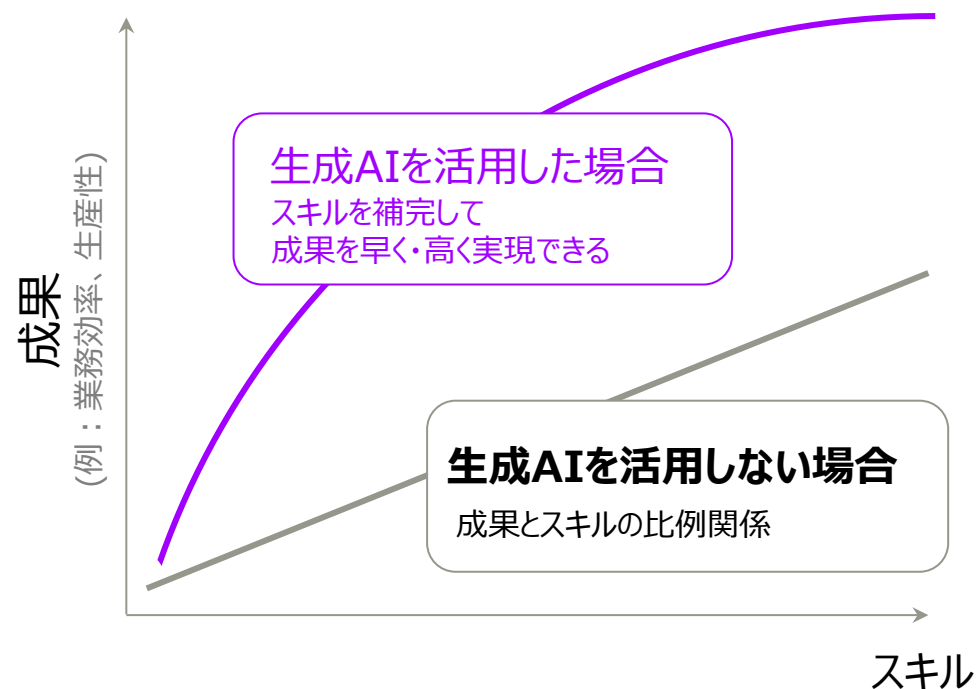
スキルの性質に応じて、“学び続けられる仕組み”が必要



“進化速度 × 汎用性”で考える、スキル別育成の考え方

スキルの性質に応じて、“学び続けられる仕組み”が必要

生成AIを学ぶことで
「スキルのレバレッジ」を最大化できる



生成AIに限らず、知識の陳腐化が早まり、
“学び続けないと価値が維持できない”時代に

以前の考え方

4 to 40

4年間学んだ知識で
40年間働く

現在の考え方

4 to 4

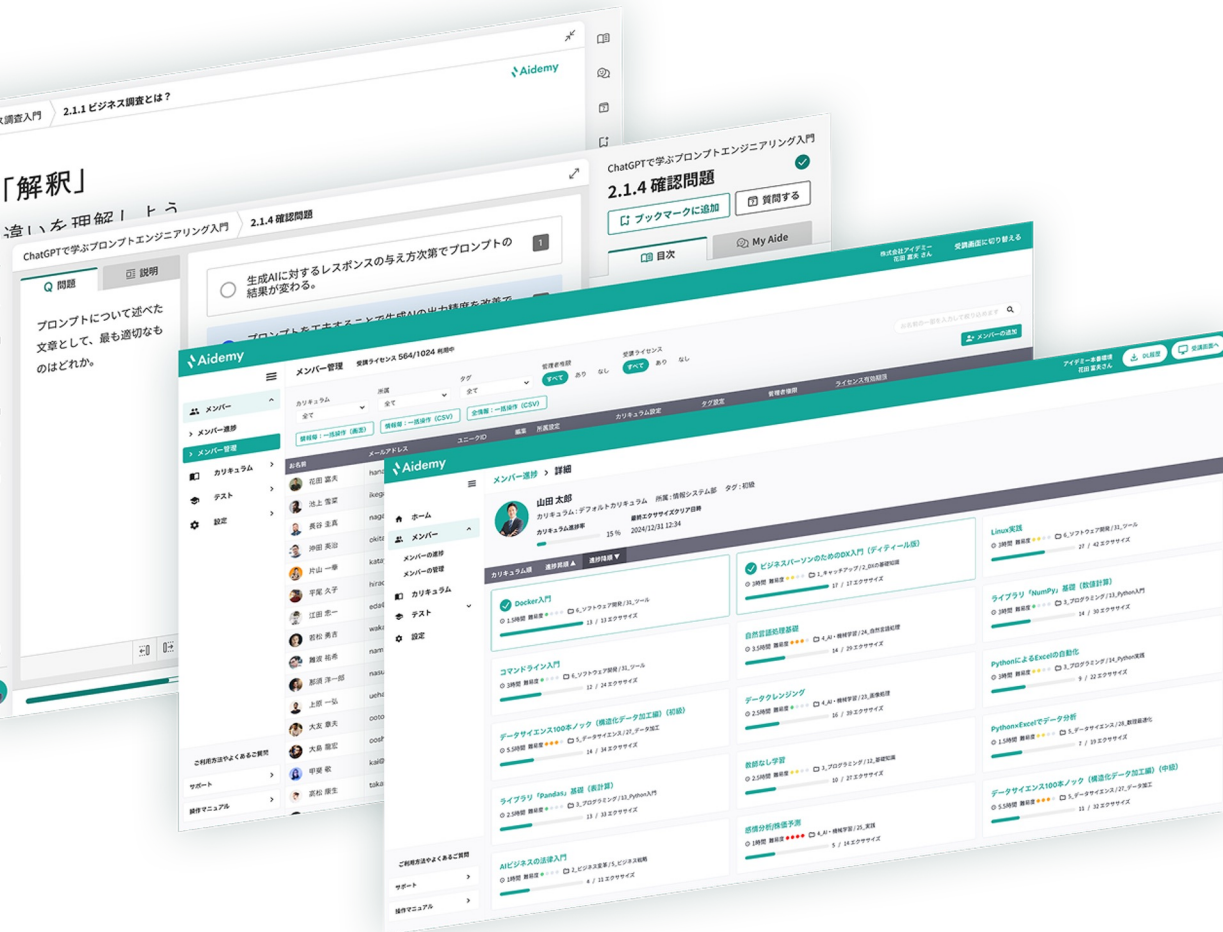
4年間学んだ知識で
4年働く

出典：『リデザイン・ワーク新しい働き方』リンダ・グラットン, 2022年, 東洋経済新報社

サービス詳細

AI/DX人材育成e-learning「Aidemy Business」

全員のDXリテラシーを底上げし、学び続けられるAI/DX人材育成プラットフォーム



- ユーザー数40万人超
- 環境構築不要でプログラミング学習可能
- パーソナルAIアシスタント「My Aide」で強力かつリアルタイムで学習サポート
- 専任担当による手厚いサポート体制



学習を深める関連サービス

AI/DX人材育成 e-learning



AI実務直結型ワークショップ

<https://practice.aidemy.net/>



GX人材育成サービス

<https://gx.aidemy.net/>



DX推進力の可視化アセスメント

(Digital Professional Assessment Service)

<https://dpas.org/>

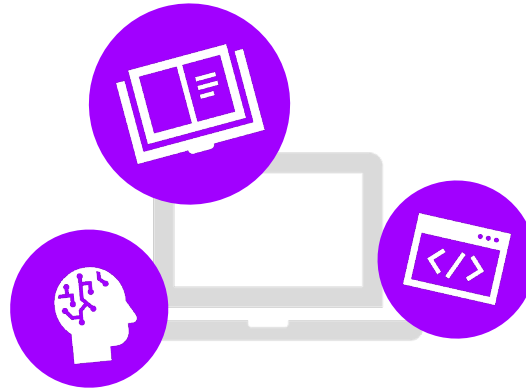
Aidemy Businessの特徴 3つ

学びの広さ・深さ・続けやすさを備えた“学びのインフラ”



1.ライセンス

必要な人に必要なだけ
使える仕組み



2.コンテンツ

DX/AIに特化した
コンテンツが豊富

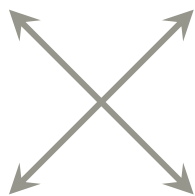


3.システム

継続学習・知識定着を
支援するシステム

必要な人に必要なだけ使える仕組み

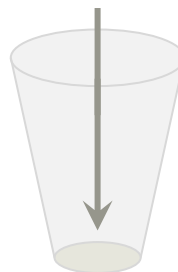
必要な人が、必要なだけ学べる「柔軟な仕組み」



広く届ける

全社必須スキルを
効率的に浸透

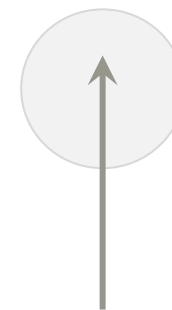
ベースライセンス



深く届ける

専門スキルを
必要な人に集中提供

プロフェッショナルライセンス

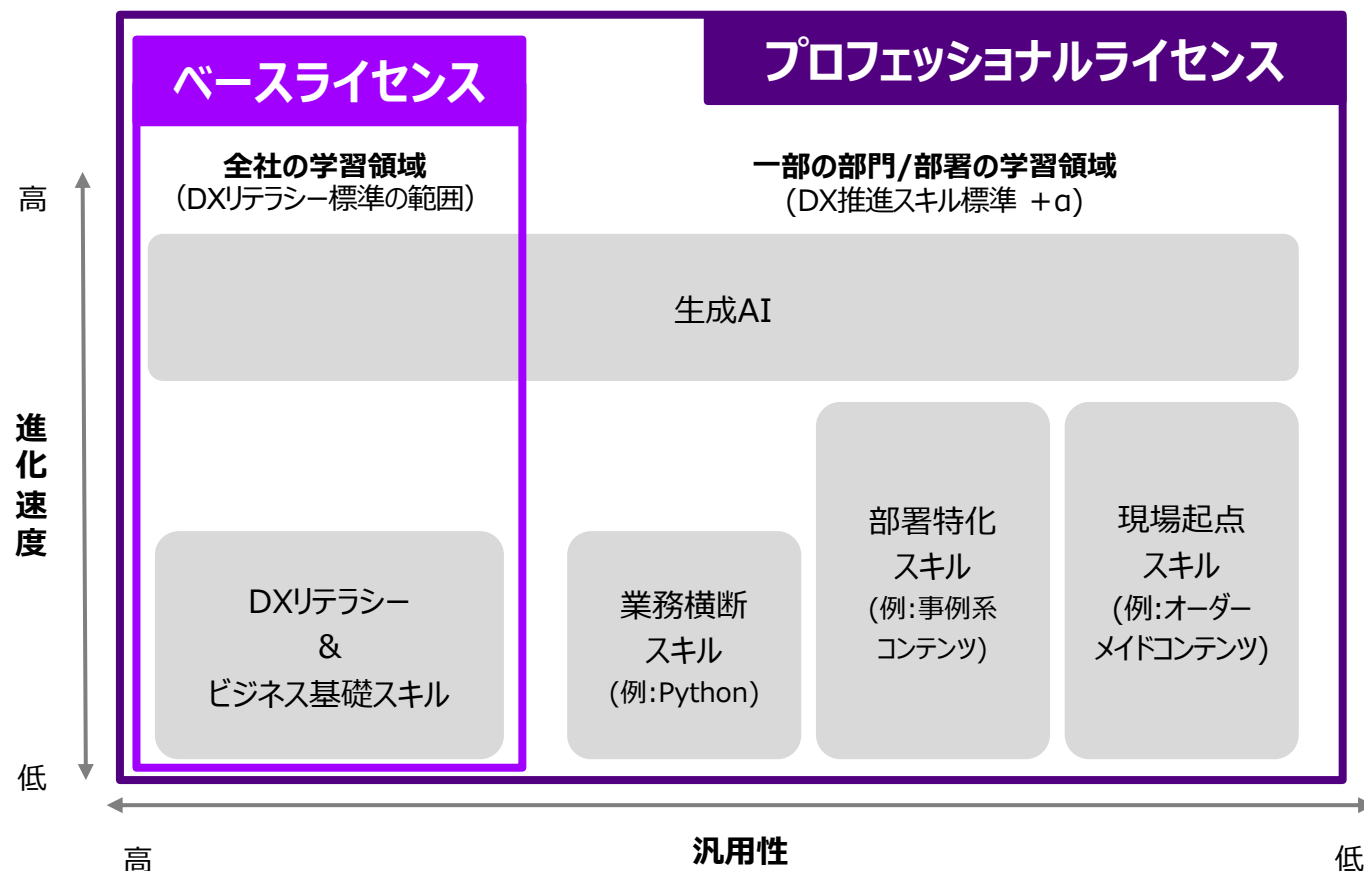


ムダなく届ける

役割・チームに応じた
学習内容の最適化

必要な人に必要なだけ使える仕組み

学びの最適解を実現する、2つのライセンス



ベースライセンス

全社員配布可能 – 発行数は無制限
約70コース見放題 – 基礎・生成AI含む
確認テスト(コース/カリキュラム単位)
カリキュラムテンプレートの提供
イベント招待

プロフェッショナルライセンス

任意のユーザーに配布 (1人単位)
全270コース見放題 – 専門スキル含む

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

DX推進に必要な「共通言語・知識・スキル」の習得

豊富な数

270[※]
コース以上

※プロフェッショナルライセンスを利用した場合



毎月新しいコースが追加

高品質

講師

講師の85%以上が実務経験者
社内社外から、選抜された講師

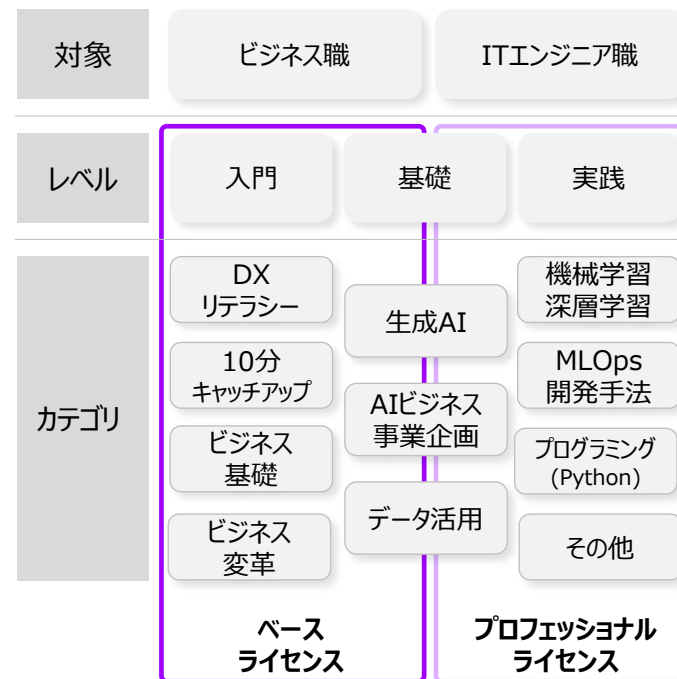
テーマ

様々なニーズや社会的課題に
沿って、自社で企画

制作
担当

教科書・学習参考書などの編集
経験を持つメンバーが在籍

網羅性



DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

人気シリーズ | 10分キャッチアップシリーズ

本格的に学習をはじめる前の入門編やキーワードを学習したい方に最適なコース

▼DXに必要なマインド・スタンスとは

DXを進める土台となる「マインド・スタンス」

DXを進めるために必要なもの

世の中のトレンド
を掴む力

データや技術
に関する知識

マインド・スタンス

社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動

▼生成AIとは



対応ライセンス：ベース

No	コース名※	No	コース名※
1	SX・GX・DXの関係性	13	コンピュータとは
2	AIにできること	14	ソフトウェアとは
3	DXとは	15	クラウドとは
4	GXとは	16	Pythonとは
5	DXが求められる背景	17	JSONとは
6	DXに必要なマインド・スタンスとは	18	生成AIとは
7	機械学習とは	19	AIガバナンスとは
8	DX推進に必要なスキルとは	20	AI拡張型開発とは
9	データ・デジタル技術の活用方法・事例	21	ITパスポート試験とは
10	DXで活用されるデータとは	22	データサイエンスとは
11	サイバーセキュリティとは	23	AIエージェント
12	ネットワークとは		

※すべてのコース名の前に「10分でキャッチアップ」が付く



DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

ビジネス系コースの一例

事例で学ぶ！デジタル業務改善 2025年度版

「業務効率化を進めたい」「改善のヒントが欲しい」— そんな方へ。
12の事例やツール活用を通じて、デジタル業務改善の勘所を学び、
自ら改善を企画する力を養います。

プロが伝える！新規事業の心構え

「アイデアがない」「どう進める？」— 新規事業に挑む方へ。
数多くの事業を立ち上げてきた新規事業家である講師が、
新規事業を成功させる心構えを伝授。

特徴2:コンテンツ

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

人気コースの一例

#	コース名	時間	難易度	対応 ライセンス	#	コース名	時間	難易度	対応 ライセンス
1	10分でキャッチアップ_DXとは	0.2	★	ベース	16	Linux入門	2	★	プロ
2	10分でキャッチアップ_AIにできること	0.2	★	ベース	17	投資対効果を最大化するAI導入	3	★	プロ
3	【新】 ChatGPT入門	0.5	★	ベース	18	UXデザイン概論 ～ユーザー中心設計を理解する～	1	★	ベース
4	導入で学ぶ！生成AI組み込みで社内業務効率化	1	★	ベース	19	機械学習につながるビジネス数学	0.5	★	プロ
5	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	1	★	ベース	20	はじめてのPython	4	★	プロ
6	DX実践のためのローコード開発 Claris FileMaker 基礎編	2	★	プロ	21	SQL基礎	1.5	★	プロ
7	Power BI基礎編 データ可視化と活用概論	1	★	プロ	22	ITパスポート試験対策 1・2・3	16	★★	プロ
8	これだけはおさえたいExcel基礎	1	★	ベース	23	「データサイエンティスト検定リテラシーレベル」対策	7.5	★★	プロ
9	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	1.5	★	ベース	24	Python3エンジニア認定データ分析試験対策①	6.5	★★	プロ
10	事例で学ぶ！DX事業立案	3.5	★	ベース	25	統計検定3・4級対策	20	★★	プロ
11	ビジネスパーソンのためのDX入門（サマリー版）	3.5	★	プロ	26	マテリアルズインフォマティクス概論	3	★★★★	プロ
12	DXリテラシー：マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～	1	★	ベース	27	画像データによる異常検知：入門編	3	★★★★	プロ
13	DXリテラシー：Why ～DXの求められる背景～	1	★	ベース	28	自然言語処理基礎	3.5	★★★★	プロ
14	DXリテラシー：What （DXで活用されるデータ・技術）データ	1	★	ベース	29	時系列解析 I（統計学的モデル）	4.5	★★★★	プロ
15	DXリテラシー：How（データ・技術の活用）留意点	1	★	ベース	30	【新】タイタニック（kaggleのコンペ）	4	★★★★★	プロ



DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

経産省「DXリテラシー標準」対応コース

標準策定のねらい

ビジネスパーソン一人一人がDXに関するリテラシーを身につけることで、DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる

Why

DXの背景

DXの重要性を理解するために必要な、社会、顧客・ユーザー、競争環境の変化に関する知識を定義

What

DXで活用されるデータ・技術

ビジネスの場で活用されているデータやデジタル技術に関する知識を定義

How

データ・技術の活用

ビジネスの場でデータやデジタル技術を活用する方法や留意点に関する知識を定義

DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

マインド・スタンス

不確実性の高い時代において、新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動をデザインの素養に基づいて定義

→ 個人が自身の行動を振り返るための指針であり、組織・企業がDX推進や持続的成長を実現するために、構成員に求める意識・姿勢・行動を検討する指針とする

対応ライセンス：ベース

No	コース名	時間(h)
1	DXリテラシー：Why ～DXの求められる背景～	1
2	DXリテラシー：マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～	1
3	DXリテラシー：What (DXで活用されるデータ・技術) データ	1
4	DXリテラシー：What (DXで活用されるデータ・技術) デジタル技術	1.5
5	DXリテラシー：How (データ・技術の活用) 留意点	1
6	DXリテラシー：How ～データ・デジタル技術の活用事例と利用方法～	1

合計 6.5

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

ツール活用系

実務にすぐ活かせるツール関連コース

業務ツールの“使えるつもり”を見直して効率化
Word、Excelをより効率的に使う方法や、最新ツールの使用方法を実践的に学べるコース

対応ライセンス：ベース

No	使用ツール	コース名	時間(h)
1	Word	これだけはおさえないWord基礎	1
2	Excel	これだけはおさえないExcel基礎	1
3	Excel	データ入力統一ルールのお勧め	1
4	Excel	Excel VBA基礎（前編）	1
5	Excel	Excel VBA基礎（後編）	1
6	RPA	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	1
7	RPA	定型業務を自動化しよう！実践編 Power Automate for desktop入門	1
8	BI	Power BI基礎編 データ可視化と活用概論	1
9	BI	Power BI実践編 データ可視化と活用の実践	1.5

合計

9.5

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

カリキュラム例（基礎）

新しい価値を生み出す！DXの基礎

対応ライセンス：ベース

No	コース名	時間(h)	No	コース名	時間(h)
1	10分でキャッチアップ_DXとは	0.2	11	データインプット統一ルールの勧め	1
2	10分でキャッチアップ_DX推進に必要なスキルとは	0.2	12	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	1
3	DXリテラシー：マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～	1	13	未知の課題に立ち向かう：課題設定力向上のすすめ	1.5
4	DXリテラシー：Why ～DXの求められる背景～	1	14	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	1
5	DXリテラシー：How ～データ・デジタル技術の活用事例と利用方法～	1	15	変革マネジメント ～ミドルアップで"壁"を越える～	1
6	DXリテラシー：What (DXで活用されるデータ・技術) データ	1	16	ビジネスアナリシス概論：エンタープライズ変革に求められる力	1
7	DXリテラシー：What (DXで活用されるデータ・技術) デジタル技術	1.5	17	ビジネス変革を起こすためのブランディング入門	1.5
8	DXリテラシー：How (データ・技術の活用) 留意点	1	18	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	1.5
9	これだけはおさえないWord基礎	1	合計		18.4
10	これだけはおさえないExcel基礎	1			

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

カリキュラム例（基礎）

最新技術を業務に活かす！AIの基礎

対応ライセンス：ベース

No	コース名	時間(h)
1	10分でキャッチアップ_AIにできること	0.2
2	10分でキャッチアップ_生成AIとは	0.2
3	10分でキャッチアップ_データサイエンスとは	0.2
4	10分でキャッチアップ_機械学習とは	0.2
5	ChatGPTで学ぶ プロンプトエンジニアリング入門	1
6	事例で学ぶ！生成AI組み込みで社内業務効率化	1
7	10分でキャッチアップ_AIガバナンスとは	0.2
合計		3

あらためて確認！ITの基礎

対応ライセンス：ベース

No	コース名	時間(h)
1	10分でキャッチアップ_コンピュータとは	0.2
2	10分でキャッチアップ_ソフトウェアとは	0.2
3	10分でキャッチアップ_ネットワークとは	0.2
4	10分でキャッチアップ_クラウドとは	0.2
5	10分でキャッチアップ_サイバーセキュリティとは	0.2
6	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1
7	10分でキャッチアップ_ITパスポート試験とは	0.2
合計		2.2

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

カリキュラム例

経産省「DX推進スキル標準」対応

DXを推進する6つの人財

ビジネスアーキテクト

データサイエンティスト

データマネジメント

サイバーセキュリティ

ソフトウェアエンジニア

デザイナー

新事業の目的を設計し関係者を調整しながら推進

No	コース名	時間(h)	対応ライセンス	No	コース名	時間(h)	対応ライセンス
1	ビジネスを成功に導く：ポートフォリオマネジメントとスタートアップエコシステム構築	1	プロ	10	ビジネス変革に求められるプロダクトマネジメント	0.5	プロ
2	ビジネス変革に求められるプロダクトマネジメント	0.5	プロ	11	ビジネス変革を起こすためのマーケティング入門	1.5	プロ
3	変革マネジメント ～ミドルアップで“壁”を越える～	1	プロ	12	ビジネス変革を起こすためのブランディング入門	1.5	ベース
4	複雑さに対応するためのシステムズエンジニアリング概論	1	プロ	13	UXデザイン概論 ～ユーザー中心設計を理解する～	1	プロ
5	エンタープライズアーキテクチャ：全体最適で事業を再構築する	1.5	プロ	14	UXデザイン実践 ～プロトタイプ作成～	1	プロ
6	プロジェクトマネジメント入門	1	プロ	15	ビジネス統計学入門	2.5	ベース
7	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	1	プロ	16	事業戦略におけるデータ・AI活用	1.5	プロ
8	プロが伝える！新規事業の心構え	1.5	プロ	17	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1	ベース
9	ビジネスアナリシス概論：エンタープライズ変革に求められる力	1	ベース	合計		20	



特徴2:コンテンツ

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

カリキュラム例

経産省「DX推進スキル標準」対応



データ解析で有益な知見を導き業務やビジネスを変革

No	コース名	時間 (h)	対応 ライセンス	No	コース名	時間 (h)	対応 ライセンス
1	UXデザイン実践～プロトタイプ作成～	1	プロ	18	製造業におけるシミュレーション実践	1.5	プロ
2	ビジネス統計学入門	2.5	ベース	19	機械学習概論	1.5	ベース
3	ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門	2	プロ	20	教師あり学習（回帰）	1	プロ
4	AIプロジェクトマネジメント	2	プロ	21	教師あり学習（分類）	3	プロ
5	数学入門（線形代数）	2	プロ	22	教師なし学習	2.5	プロ
6	数学入門（微分積分）	2	プロ	23	ディープラーニング基礎	3	ベース
7	ビジネス統計学入門	-	ベース	24	スクラッチ実装して理論を体得する強化学習	6	プロ
8	【新】ライブラリ「Matplotlib」基礎（可視化）	4	プロ	25	自然言語処理基礎	3.5	プロ
9	データクレンジング	2.5	プロ	26	CNNを用いた画像認識	3	プロ
10	教師あり学習（回帰）	1	プロ	27	深層学習の適用（音声認識）	2	プロ
11	教師あり学習（分類）	3	プロ	28	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	1	プロ
12	時系列解析 I（統計学的モデル）	4.5	プロ	29	生成モデル	3	ベース
13	意思決定につなげる教師なしクラスタリング	3	プロ	30	深層学習の適用（WaveNet）	1.5	プロ
14	ネットワーク分析入門	4.5	プロ	31	コンピュータサイエンス入門	1.5	プロ
15	異常検知入門	5.5	プロ	32	生産性を高める チーム開発入門	1.5	プロ
16	Power BI基礎編 データ可視化と活用概論	1	プロ	33	事例で学ぶ！ パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1	ベース
17	現場で役立つPython×数理最適化：入門編	2	プロ	合計		79	



DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

カリキュラム例

経産省「DX推進スキル標準」対応



サイバー対策を導入・運用し事業の安定を支える

No	コース名	時間 (h)	対応 ライセンス
1	コンピュータサイエンス入門	1.5	プロ
2	生産性を高める チーム開発入門	1.5	プロ
3	ソフトウェアエンジニアのための設計手法 基礎	1.5	プロ
4	「早めのテスト」で開発の質とスピードを改善！ソフトウェアテストの実践	1.5	プロ
5	全体像がよくわかる！アジャイル開発入門	1.5	プロ
6	ゼロから始めるWebアプリケーション開発	1.5	プロ
7	ゼロから始めるフロントエンドシステム開発	1.5	プロ
8	クラウド入門	1	プロ
9	明日から活かす、DevOps	1.5	プロ
10	定型業務を自動化しよう！ 概論編 RPA入門	1	ベース
11	定型業務を自動化しよう！ 実践編 Power Automate for desktop入門	1	プロ
12	現実世界をデジタル化してDXを推進！フィジカルコンピューティング	1.5	プロ

No	コース名	時間 (h)	対応 ライセンス
13	ブロックチェーン入門	1	プロ
14	Web3入門	0.5	プロ
15	ブロックチェーン基礎	2	ベース
16	ブロックチェーン発展Ⅰ	4	プロ
17	ブロックチェーン発展Ⅱ	3	プロ
18	ブロックチェーン発展Ⅲ	3	プロ
19	DX推進におけるセキュリティマネジメント 基本知識編	1	プロ
20	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	1.5	ベース
21	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1	ベース
22	ゼロトラスト・セキュリティ概論	1.5	プロ
23	エンジニアのためのセキュリティ入門	1	プロ
合計		36	



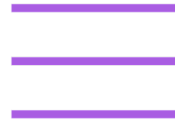
DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

全社員が「最新の生成AIスキル」にアクセスできる



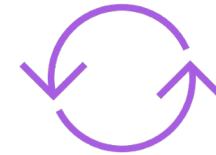
**フレッシュな生成AIの
学びを、全社員に**

生成AIコンテンツは
ベースライセンスに含まれる



**年間50本以上の
新コースをリリース予定**

技術進化や業務に即応した
実践的コースを追加



**3ヶ月に1回以上
のアップデート**

最新トレンドにあわせて
中身を更新し、陳腐化を防止
(「ChatGPT入門」「Copilot入門」コースなどが対象)

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

生成AIコース – リリース済

No	カテゴリ	コース名	時間 (h)	対応ライセンス
1	ChatGPT	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	1	ベース
2	ChatGPT	10分でキャッチアップ_生成AIとは	0.5	ベース
3	ChatGPT	【新】ChatGPT入門	0.5	ベース
4	ChatGPT	ノーコードで始めるChatGPT活用術 ～業務効率化のためのカスタムチャットボット作成入門～	1	プロ
5	ChatGPT	ChatGPTではじめる かんたんビジネス文書作成	0.2	ベース
6	ChatGPT	ChatGPTではじめる かんたんメール作成	0.2	ベース
7	ChatGPT	ChatGPTではじめる かんたんリサーチ	0.2	ベース
8	Copilot	Microsoft Copilot入門	1	ベース
9	Copilot	Microsoft Copilot×Wordではじめる文書作成効率化	0.2	ベース
10	Copilot	Microsoft Copilot×Excelではじめる表計算効率化	0.2	ベース
11	Copilot	Microsoft Copilot×Excelでできる表・グラフ作成効率化	0.2	ベース

No	カテゴリ	コース名	時間 (h)	対応ライセンス
12	Copilot	Microsoft Copilot×Teamsでできる議事録作成効率化	0.3	ベース
13	Dify	ゼロから“イチ”を生み出す Dify活用術	0.5	プロ
14	GPTs・Dify	GPTsとDifyでビジネスを効率化 ～API連携でビジネスアプリを作成～	1	プロ
15	LLM・RAG	LLMに外部知識を取り入れる！RAG入門	1	プロ
16	生成AI組み込み	事例で学ぶ！生成AI組み込みで社内業務効率化	1	ベース
17	部門・役職別	スピードとクオリティを爆上げ！開発業務に生成AIを活用する	1	プロ
18	AIエージェント	10分でキャッチアップ_AIエージェント	0.2	ベース
19	生成AI	10分でキャッチアップ 生成AIを支えるアーキテクチャとモデル	0.2	ベース
20	RAG	10分でキャッチアップ_RAG	0.2	ベース
21	生成AI	10分でキャッチアップ 生成AIコンテンツと著作権	0.2	ベース
22	Copilot	Microsoft Copilot×Teamsでできるオンライン会議効率化	0.3	ベース

DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

生成AIコース – 制作予定

No	カテゴリ	コース名	時間 (h)	対応 ライセンス
1	ChatGPT	【初級・コーポレート向け】 ChatGPTで作る社内マニュアル	0.25	ベース
2	ChatGPT	【中級・全職種】 数字に強くなる！ ChatGPTデータ分析術	0.3	プロ
3	Copilot	【初級・全職種】 SharePoint×Copilotではじめる情報管理術	0.25	ベース
4	Copilot	【中級・コーポレート向け】 Copilot StudioでつくるFAQボット入門	0.3	プロ
5	Copilot	【中級：コーポレート向け】 Forms × Copilotで始めるアンケート分析	0.3	プロ
6	Copilot	【中級・営業向け】 Copilot StudioでつくるFAQボット入門	0.3	プロ
7	Copilot	【中級：営業向け】 Forms × Copilotで始めるアンケート分析	0.3	プロ
8	PJマネジメント	生成AIプロジェクトマネジメントシリーズ① 「生成AI時代の全体像を俯瞰する：プロジェクトマップ」	-	プロ
9	PJマネジメント	生成AIプロジェクトマネジメントシリーズ② 「生成AIならではのデータ準備と前処理タスク」	-	プロ
10	PJマネジメント	生成AIプロジェクトマネジメントシリーズ③ 「プロンプト設計・ファインチューニングタスクの整理」	-	プロ
11	PJマネジメント	生成AIプロジェクトマネジメントシリーズ④ 「生成AIの評価・検証タスクと品質管理」	-	プロ
12	PJマネジメント	生成AIプロジェクトマネジメントシリーズ⑤ 「生成AIサービス運用・LLOpsタスクの整理」	-	プロ

No	カテゴリ	コース名	時間 (h)	対応 ライセンス
13	PJマネジメント	生成AIプロジェクトマネジメントシリーズ⑥ 「Mgrが押さえるべき：生成AIプロジェクトの意思決定ポイント」	-	プロ
14	部門・役職別	【中級・R&D向け】 生成AIで論文要約・特許調査を効率化	0.3	プロ
15	部門・役職別	【中級・コーポレート向け】 生成AIで規程文書・資料ドラフトを自動化	0.3	プロ
16	部門・役職別	【中級・生産向け】 生成AIで作業報告・日報を自動生成	0.3	プロ
17	部門・役職別	【上級・人事部マネージャー】 人事部長のための生成AI活用術：戦略人事を加速する“人材・組織・費用”の見える化と意思決定支援	0.5	プロ
18	部門・役職別	【上級・経理部マネージャー】 経理部長のための生成AI活用術：正確・迅速・説明力を備える次世代経理へ	0.5	プロ
19	部門・役職別	【上級・R&D部門マネージャー】 研究開発部長のための生成AI活用術：技術戦略・翻訳・伝承を支える知の参謀としてのAI活用	-	プロ
20	部門・役職別	【上級・生産部門マネージャー】 生産技術部長のための生成AI活用術：改善・設計・展開を支える“技術戦略パートナー”としてのAI	0.5	プロ
21	部門・役職別	【上級・営業部マネージャー】 営業部長のための生成AI活用術：戦略・KPI・進捗管理	0.5	プロ
22	-	技術委員会フローコンテンツ	-	プロ



DX/AIに特化したコンテンツが学び放題

Knowledge Feed (β版)

生成AIを中心とした最新トピックスをご提供
ベースライセンスで閲覧可能

The screenshot displays the Knowledge Feed interface. At the top, there's a header "Knowledge Feed". Below it, several content cards are visible: "GPT-5 登場 何がすごい? 10分でキャッチアップ", "Gemini Claude GPT", and "gpt-oss 徹底解説". To the right, there's a section for "Aidemy AI" with a "New!" badge and a "はじめる" button. Below this, a "学習状況" (Learning Status) section shows a progress bar for "カリキュラム進捗 33%". At the bottom, there's a "完了コース数 10/154" (Completed Course Count) and a "ライセンス期限: 2022年9月24日まで" (License Expiry Date) notice.

トレンドの変化をいち早くキャッチし、現場で即活用できるマテリアルをスピーディーにご提供。

組織の学びをもっと柔軟に、もっと身近に。

※ Knowledge Feed は、カリキュラム設定および受講進捗データには反映されません。

※ 配信は YouTube を使用して行う予定です。ご利用企業のポリシーや視聴環境によっては閲覧できない場合があります。将来的には Aidemy Business 内の標準動画配信環境へ切り替える予定です。

全社 × 特定部門、それぞれに最適な“学びのかたち”

ベース・プロフェッショナルの組み合わせで無駄なく育成

ベースライセンス
(プランの基本料金のみ)

全社で押さえない “エントリー教育”を網羅

【短時間で要点だけ】10分キャッチアップ

【DSS準拠】DXリテラシー標準

【日常業務の底上げ】Excel・Word 基礎

【最新の重要トピック】生成AI

ベースライセンスに含まれる内容だけで
全社リテラシー教育が実現可能

プロフェッショナルライセンス
(1人あたりの追加ライセンス)

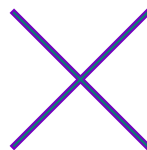
部署・テーマ別の“高度教育” をピンポイントで展開

各本部 | 本部長向け
データ活用・生成AI理解

生産技術部 | 担当者向け
現場課題の見える化×生成AIでの改善設計に向けた学習

研究開発部 | 担当者向け
ナレッジ検索やレポート自動化に向けた学習

必要な人に、必要なだけ
深く学ばせる設計が可能



継続学習・知識定着を支援するシステム

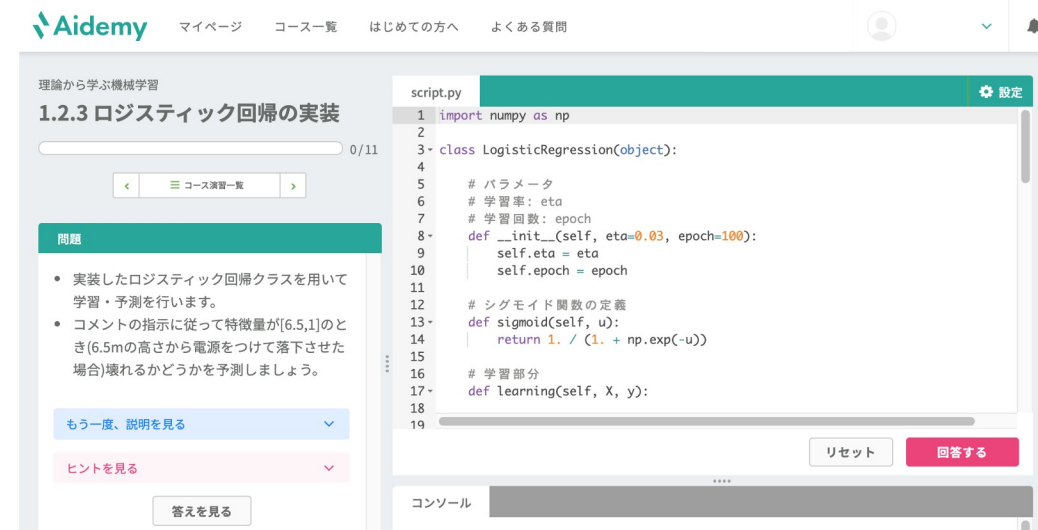
受講者向け機能

マルチデバイス対応の動画視聴



動画コースは複数チャプターから構成され、
隙間時間でも学習がしやすい仕組み

環境構築不要のプログラミング演習



環境構築が不要
プログラミング初学者でも学びやすい仕組み

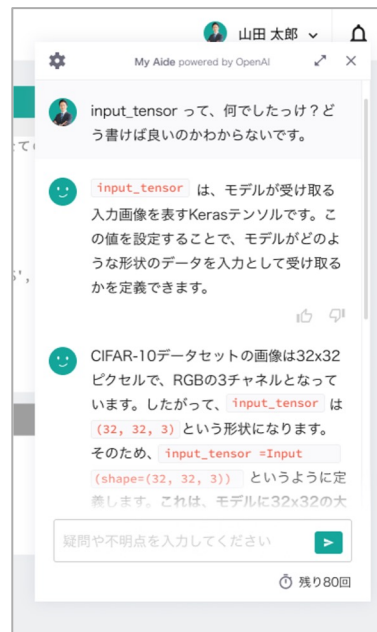
継続学習・知識定着を支援するシステム

受講者向け機能

パーソナルAIアシスタント「My Aide」

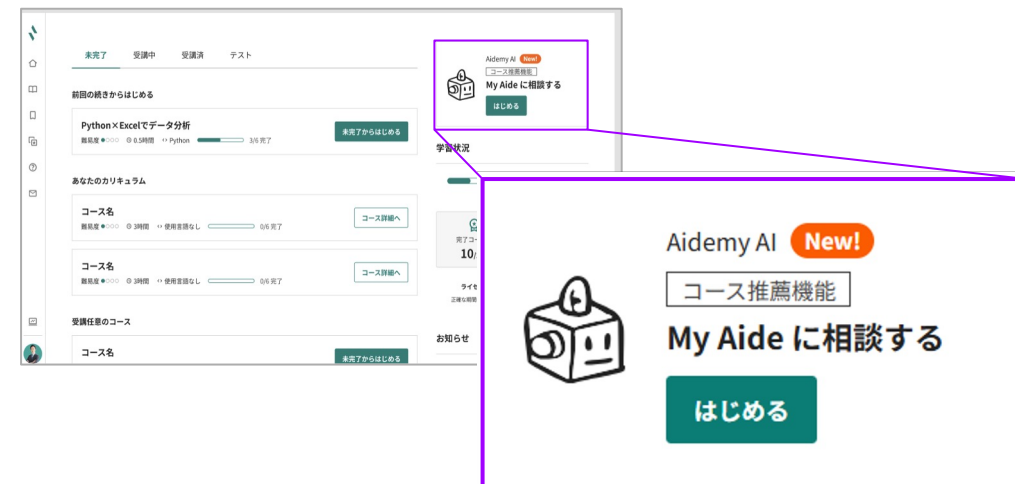
- 演習中に気になった点や不明点について、その場でAIに質問して、回答を得ることができる。

▼コース受講画面



- 受講履歴をもとに、おすすめのコースを推薦してくれる。

▼受講者マイページ



My Aide 注意事項

- ・ MyAideはPCのみで利用可能です。※タブレットやモバイルには非対応
- ・ 月100回まで（1人）／1メッセージ＝1回 ※毎月1日リセット・翌月繰越なし
- ・ おすすめされたコースの受講にプロフェッショナルライセンスが必要な場合があります。

特徴3: システム 継続学習・知識定着を支援するシステム

テスト機能

受講者向け

知識定着のサポート

▼テスト受検画面

Aidemy

エンジニア (アセスメント)

残り時間 28:34

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

選択肢

人工知能に関する説明文のなかで、正しいものを選んでください。

☐ 人工知能(AI)アルゴリズムには、If-Then形式のみで知識表現を行うものも含まれる。

☐ 機械学習(マシナラーニング)手法のなかの一部が深層学習(ディープラーニング)手法です。

☐ 機械学習は大量のデータからパターンを読み取り、問題を解決する手法です。

☐ 人工知能は画像、音声、マーケティングなどの様々な分野で活用されます。

☐ 上記の選択肢すべて

▼テスト結果確認

マイページ > エンジニア (アセスメント) > テスト結果 (正誤確認)

問1

DQNについて述べた分として誤ったものを選んでください。

☒ Q学習は行動価値関数を推定するアルゴリズムである。

☐ 行動価値関数はテーブルの形で表現される。

☐ Q関数のサイズは、状態や行動の数に関わらず一定ではない。

☐ DQNの論文では収束の保証がないQ学習の成功を証明した。

☐ 上記のどれも当てはまらない

深層強化学習発展 > DQN

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

✕ ○ ○ ✕ ✕ ○ ○ ✕ ○ ✕ ✕ ✕ ✕ ✕ ✕ ○ ○

出題の元となった
コースに遷移し、
復習が可能

管理者向け

受講者の習熟度チェック

▼テスト受検者管理画面

テスト受検者管理 CSVダウンロード							
受験者を設定するテスト		受験期間 (設定)	合格ライン (設定)	受験者を一括設定する			
ビジネスサイド(アセスメント)		2021/10/18~2023/02/09	70%	テスト対象一括設定(CSV)			
カリキュラム	所属	タグ	受講ライセンス	お名前の一部を入力して絞り込みます			
全て	全て	全て	すべて あり なし				
お名前	カリキュラム	所属	タグ	テスト対象 (全て選択)	得点	再テスト対象 (全て選択)	再テストの得点
山田	AI/ML教養・リテラシー	営業	第一期	☒	7/20 (2022/07/22)	☐	10/20 (2022/09/15)
田中	AI/ML教養・リテラシー	営業	第一期	☒	0/20 (2022/10/18)	☐	
伊藤	AI/MLディレクター	営業	第一期	☒			
仲村	AI/ML教養・リテラシー	営業	第一期	☐			

- カリキュラムごとにテスト作成
(出題コース, 問題数, 合格正答率, 制限時間等が設定可)
- テスト不合格の受講者が再テストを受けられる機能あり

継続学習・知識定着を支援するシステム

テスト機能

受講進捗管理

▼受講者ごとのカリキュラム進捗確認画面



カリキュラム・所属・タグ・ライセンス有無ごとに該当する
受講者のカリキュラム進捗一覧が確認可能

【CSVデータから分析できる内容】

csv項目

分析からわかる内容

総学習時間

人材育成のKPIに利用可能な受講者の学習時間がわかる

カリキュラム内のコース
進捗率

コースの学習途中で離脱しているコースから、苦手分野の傾向がわかる

演習問題で初回正解
するまでの不正解回数

受講者の得意・不得意分野の傾向がわかる

カリキュラム外のコース
進捗率

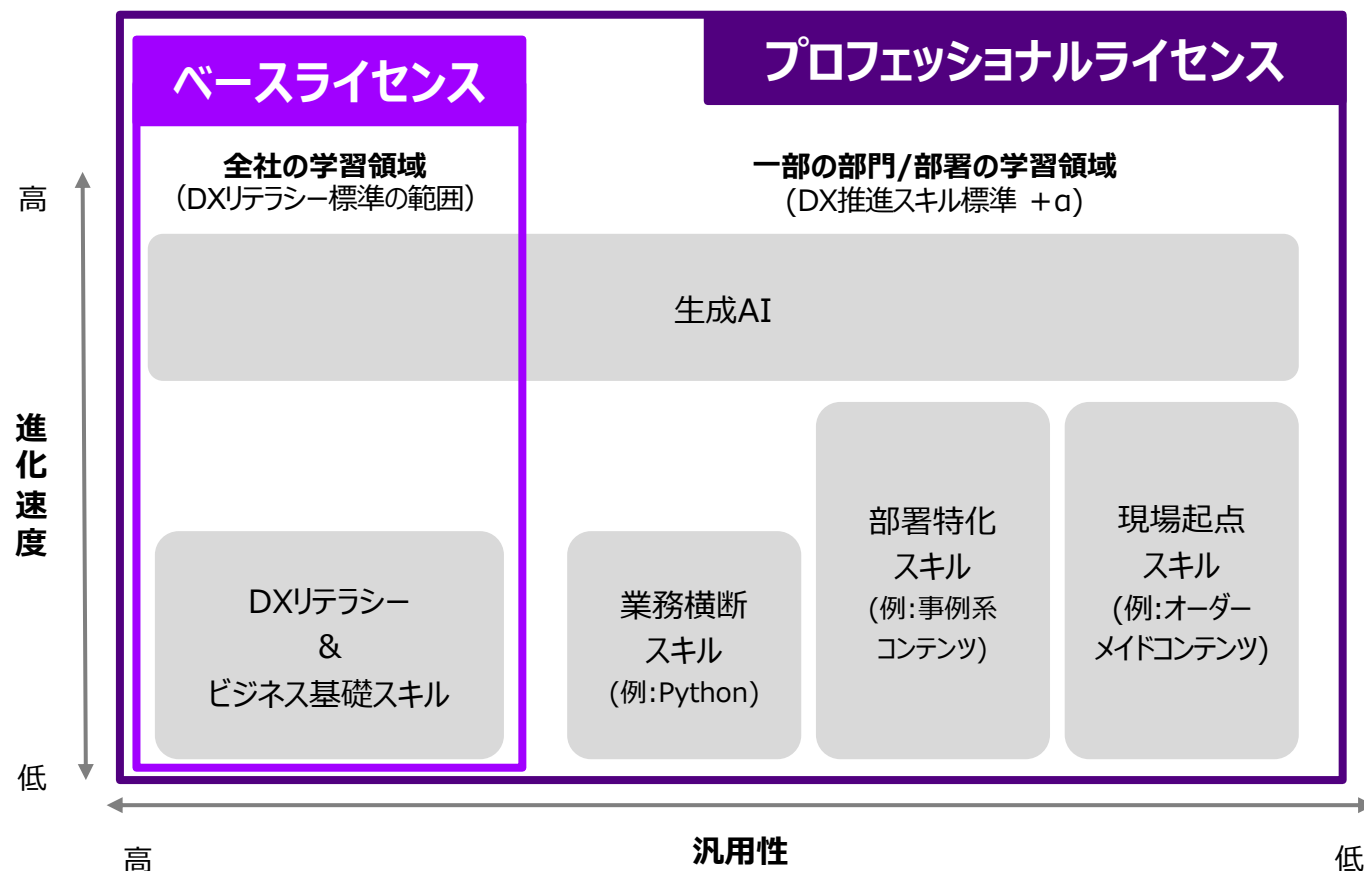
カリキュラム以外で受講者が興味を持っている分野がわかる

コース一覧

- ・ ベースライセンスコース
- ・ 閉鎖済・閉鎖予定のコース

必要な人に必要なだけ使える仕組み

学びの最適解を実現する、2つのライセンス



ベースライセンス

全社員配布可能 – 発行数は無制限
約70コース見放題 – 基礎・生成AI含む
確認テスト(コース/カリキュラム単位)
カリキュラムテンプレートの提供
イベント招待

プロフェッショナルライセンス

任意のユーザーに配布 (1人単位)
全270コース見放題 – 専門スキル含む

ベースライセンス
コース一覧 1/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、
今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供修了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
1	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	1	1	ChatGPTをはじめとする生成AIを使うための指示文の書き方（プロンプト）を学ぶコースです。生成AIについての基本事項を理解し、業務のなかで効果的に生成AIを活用できるようになることを目指します。
2	【新】ChatGPT入門	0.5	1	ChatGPTを始める第一歩として、ChatGPTの概要と基本的な操作方法をご紹介しますうえで、より良い回答を得るポイントや、ChatGPTを活用するうえでの注意点について解説します。
3	Microsoft Copilot入門	1	1	「Copilot」はMicrosoftが提供する生成AIです。本コースではWebブラウザで無料で使える「Microsoft Copilot」と法人向けで有料の「Copilot for Microsoft 365」の基本操作を解説します。
4	ChatGPTではじめる かんたんメール作成	0.2	1	メール作成に時間がかかる方必見のコースです。ChatGPTを初めて使う方向けに、メールの下書きを一瞬で作る方法や文章の整え方から長文メールの要約、送信前チェックまでを実演付きで解説します。
5	ChatGPTではじめる かんたんビジネス文書作成	0.2	1	GPTを初めて使う方向けに、ビジネス文書作成を効率化する3ステップを解説します。構成を作成し、メモから下書きを調整、理解しやすい文書に整える方法を実演付きで解説します。
6	事例で学ぶ！生成AI組み込みで社内業務効率化	1	1	銀行でのチャットボット、予備校での英文添削、経理処理の効率化といった事例をもとに、生成AIに解決できる課題をイメージし、導入プロセスを理解します。ChatGPTなどの生成AIを「使う」ところから一歩踏み込み、「社内システムに組み込む」ことでさらなる業務効率化を実現しましょう。
7	10分でキャッチアップ_AIガバナンスとは	0.2	1	生成AIが急速に進むいま、AIに関する規制や標準化、ガイドラインの策定が急務とされています。このコースでは、AIガバナンスの重要性と各地域ごとの取り組みについて10分にまとめて紹介します。
8	10分でキャッチアップ_AIにできること	0.2	1	DX推進に貢献する技術として注目されるAI。本コースではAIの定義からAIの仕組み、現在のAIにできることを10分にまとめて紹介します。
9	10分でキャッチアップ_AI拡張型開発とは	0.2	1	AI技術を活用したアプリケーションの設計、コーディング、テストなど、ソフトウェア開発プロセス全体をAIが支援する「AI拡張型開発」が注目を集めています。このコースでは、AI拡張型開発の定義や主要な特徴、そして今後の展望について10分にまとめて紹介します。
10	10分でキャッチアップ_DXが求められる背景	0.2	1	DXの重要性を理解するには、社会、顧客価値、競争環境がそれぞれどのように変化しているかを把握する必要があります。本コースではDXが重要視される背景について、10分にまとめて紹介します。
11	10分でキャッチアップ_DXで活用されるデータとは	0.2	1	DXに必要な知識であるデータについて、10分にまとめてご紹介します。データの重要性、DXとの関係性、データ活用のポイント、効果的なデータ活用の方法などを分かりやすく解説しています。
12	10分でキャッチアップ_DXとは	0.2	1	今後の組織運営を考える上で、DXへの取り組みは避けて通れません。本コースではDXの定義から具体的な事例、現在の日本における課題などを10分にまとめて紹介します。
13	10分でキャッチアップ_DXに必要なマインド・スタンスとは	0.2	1	DXに必要なのは、技術や知識だけではありません。激しい社会変化のなかで新たな価値を生み出す土台となる考え方や姿勢（マインド・スタンス）について、10分にまとめて紹介します。
14	10分でキャッチアップ_DX推進に必要なスキルとは	0.2	1	「DX推進スキル標準」の内容を知らない、またはDX推進にあたって専門人材確保に課題感をもっている方に向けて、DXに必要な人材・スキルの考え方を10分にまとめてご紹介します。デジタルスキル標準「DX推進スキル標準」の概要・内容構成を理解することで、自社に必要なDX人材のイメージを描きましょう。
15	10分でキャッチアップ_GXとは	0.2	1	GXやカーボンニュートラルについて、聞いたことはありますか？ いずれも「地球の気候変動対策のために、二酸化炭素のような温室効果ガスを減らしていくこと」を表す言葉です。本コースでは、身近なGXの事例を挙げながら、キーワードの定義や意味、必要な技術、抱える課題などを10分にまとめてご紹介します。
16	10分でキャッチアップ_ITパスポート試験とは	0.2	1	「ITパスポート試験って、どんな内容？」「どんな勉強をすればいいの？」そんな疑問に答える解説動画です。試験の概要や合格のメリット、効果的な対策方法を、わかりやすくギュッと凝縮してお届けします。これから受験を考えている方や、今まさに勉強を始めようとしている方は、ぜひ、ご覧ください！



ベースライセンス コース一覧 2/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、
今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供終了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
17	10分でキャッチアップ_Jetsonとは	0.2	1	AIを動かすためにはどのようなコンピュータが使われているのでしょうか。本コースでは、機械学習の「推論」のフェーズで企業から個人まで幅広く活用されている、NVIDIAが提供する小型で高性能なコンピュータ「Jetson」について10分にまとめて紹介します。
18	10分でキャッチアップ_Pythonとは	0.2	1	汎用性の高いプログラミング言語として知られるPythonについて、10分にまとめてご紹介します。Pythonの歴史や特徴、応用範囲や今後の展望について理解を深めましょう。
19	10分でキャッチアップ_SX・GX・DXの関係性	0.2	1	持続可能性や環境への意識が高まり、SXやGXという言葉を目にする機会が増えたのではないのでしょうか。このコースではSX、GX、DXという言葉の意味、それらの関係性について10分にまとめて解説します。
20	10分でキャッチアップ_クラウドとは	0.2	1	クラウドとは何かを10分にまとめてご紹介します。クラウドのメリットと実際の活用例を解説し、ビジネスにおけるクラウド活用の理解を深めます。クラウドがわからない方も迅速にキャッチアップできる内容です。
21	10分でキャッチアップ_コンピュータとは	0.2	1	コンピュータとは何かを10分にまとめてご紹介します。「最初のコンピュータ」はどんなものだった？ 内側はどうなっている？ 炊飯器にも搭載されているの？ といったところから紐解いて、コンピュータがどんなところで、どのような役割を果たしているかイメージできるようになることを目指します。
22	10分でキャッチアップ_サイバーセキュリティとは	0.2	1	年々高まる身近なサイバーセキュリティリスクについて、10分にまとめてご紹介します。セキュリティの基本的な仕組みと個人がとるべき対策について理解を深めましょう。
23	10分でキャッチアップ_ソフトウェアとは	0.2	1	実は多くの人が日々恩恵を受けているけれどよくわからない「ソフトウェア」について、10分で解説します。ハードウェアとの違いや、コンピュータのなかでの役割、パソコン以外で使われているソフトウェアについても紹介。受講後はソフトウェアを少し身近に感じられるようになるはずです。
24	10分でキャッチアップ_データ・デジタル技術の活用方法・事例	0.2	1	経産省が策定した「DXリテラシー標準」で示されている「How データ・技術の利活用」のうち、とくに生成AIを取り上げて事例と活用法を10分でご紹介します。あまり触れたことのない方も、具体例を知ることで生成AIをはじめとする技術やツールをご自身の業務で活用できないか、考えるきっかけとしてみてください。
25	10分でキャッチアップ_データサイエンスとは	0.2	1	「データサイエンスって何？」「データサイエンティストって何をする人？」そんな疑問を10分で解決！本コースでは、データサイエンスの基本から活用事例、プロジェクトの進め方までをわかりやすく解説します。全体像をつかみ、次の学びにつなげられる内容です。データを使った意思決定に興味がある方は、ぜひご覧ください！
26	10分でキャッチアップ_ネットワークとは	0.2	1	インターネットなどを利用する際の基礎知識として、ネットワーク・インターネットの仕組みを10分でご紹介します。また、モノのインターネットと呼ばれるIoTについても具体例を交えて解説しています。
27	10分でキャッチアップ_機械学習とは	0.2	1	機械学習の仕組みを10分にまとめてご紹介します。機械学習を初めて学ぶ人が、機械学習の基本的な仕組みを把握し、活用シーンをイメージできるようになることを目指します。
28	10分でキャッチアップ_生成AIとは	0.2	1	ChatGPTのリリースを皮切りに、さまざまなサービスや活用方法が生まれ続けている生成AI。このコースでは、生成AIとは何か、生成AIの課題、生成AI市場の動向について10分にまとめてご紹介します。
29	10分でキャッチアップ_AIエージェント	0.2	1	AIエージェントの基本を、活用例を交えてわかりやすく紹介します。定義や仕組み、活用に必要なスキルを10分で整理し、短時間でAIエージェントの全体像をキャッチアップできるコースです。

ベースライセンス

コース一覧 3/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、
今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供修了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
30	DXリテラシー：How ～データ・デジタル技術の活用事例と利用方法～	1	1	働き手一人ひとりのデジタルリテラシー向上、そして各自が変革に向けて行動できることを目指し、経済産業省は学びの指針となる「DXリテラシー標準」を策定しました。DXリテラシー標準は、「Why」「What」「How」「マインド・スタンス」の4項目から成り、必要なスキルや知識、マインドセットが体系的に示されています。 本コースでは、「How」（データ・技術の利活用）の理解を深めるため、「活用事例・利用方法」について紹介します。
31	DXリテラシー：How（データ・技術の活用）留意点	1	1	本コースでは、「How」（データ・技術の活用）の理解を深めるため、DX推進における留意点について紹介します。 （No.30と同様に、DXリテラシー標準に準拠）
32	DXリテラシー：What（DXで活用されるデータ・技術）データ	1	1	本コースでは、「What」（DXで活用されるデータ・技術）の理解を深めるため、「データ」を取り扱うための知識を紹介します。 （No.30と同様に、DXリテラシー標準に準拠）
33	DXリテラシー：What（DXで活用されるデータ・技術）デジタル技術	1.5	1	本コースでは、「What」（DXで活用されるデータ・技術）の理解を深めるため、ビジネスの場で活用されているデジタル技術「AI」「クラウド」「ハードウェア・ソフトウェア」「ネットワーク」を取り扱います。 （No.30と同様に、DXリテラシー標準に準拠）
34	DXリテラシー：Why ～DXの求められる背景～	1	1	本コースでは、「Why」（DXの背景）を理解するため、「社会」「顧客価値」「競争環境」における3つの変化を紹介します。 （No.30と同様に、DXリテラシー標準に準拠）
35	DXリテラシー：マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～	1	1	本コースでは、「マインド・スタンス」に示される7つの要素について紹介します。 （No.30と同様に、DXリテラシー標準に準拠）
36	これだけはおさえないExcel基礎	1	1	Excelでデータを加工、集計、分析するには、データベースとなる明細のリスト表をきちんと作成する必要があります。ミスがなく入力しやすい表を作成すること、そして求める集計表を素早く作成できることが効率化につながります。本コースでは、Excelを使用するうえで意識しなければならない考え方と基本操作をご紹介します。
37	これだけはおさえないWord基礎	1	1	Wordでビジネス文書を作成する際、「素早く」「見やすく」を心掛けることが重要です。箇条書きや図の設定、繰り返し使う形式のテンプレート化、変更履歴といった機能を正しく活用することで、日々の文書作成が効率的になります。本コースでは、Wordを使用するうえで意識しなければならない考え方と基本操作をご紹介します。
38	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	1	1	「業務自動化を進めたいが、何から着手すべきかわからない」と悩むビジネスパーソンにおすすめです。RPAの基本、何ができるのか、成功事例などを学びます。自らの業務における課題を洗い出し、その課題をRPAによってどう自動化するかをイメージできるようになるところまでを目指します。
39	Power BI基礎編 データ可視化と活用概論	1	1	BI（ビジネスインテリジェンス）とは、社内にある大量のデータを統合・可視化し、経営や営業などあらゆる企業内活動でスピーディな意思決定を促進するためのツールです。全社的にBIツールを使いこなすことにより、データを元にした意思決定を社内文化として根付かせることができ、全社的なDXを加速させることが可能となります。本コースでは、Microsoft Power BIを具体例として、データ可視化に必要な基本的な考え方と手順について解説します。



ベースライセンス
コース一覧 4/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、
今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供修了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
40	ビジネス統計学入門	2.5	1	ビジネスで「データを活用できるようになりたい」方を受講対象者としています。まずはビジネスでデータを活用するためのポイントを押さえ、次に、統計学の難解な理論や数式は極力抑えつつ、データ分析のポイントである「グラフ化」「関係を見つける」「数値の予測」の基本を学びます。実際にExcelを用いた演習も含むので、ビジネス現場ですぐ役立つ内容です。
41	ビジネス数学	1	1	【英語版コース有り】ビジネスでは数学を実践的に扱うことが多々あります。そこで、本コースでは実際のビジネスで役立つ数学的手法をいくつか紹介します。
42	データインプット統一ルールの勧め	1	1	DXにおいて、データ利活用は欠かせないテーマです。利活用のためには、機械判読可能な構造化されたデータである必要があります。本コースでは、総務省が示す「統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール」に基づき、データ作成時の留意点について解説します。データインプットにおける統一ルールの重要性を学びましょう。
43	はじめてのAI	1	1	人工知能、AI、機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニング…これらの言葉が世間ではよく聞かれるようになっていきます。よく聞く言葉だけでも、よくわからない、自分の身近なものではなさそうと思っている方も多いのではないのでしょうか。本コースでは、AI に関わる基本知識だけでなく、事例や具体的にそれがどのような仕組みで動いているかも紹介します。AI の基礎を理解し、AI をどう活用できるかのヒントがつかめるように、本コースで学びます。
44	はじめての働き方改革	1	1	働き方改革の進め方に不安を持つ方だけでなく、働くすべての方にとって、「働く」をもっと良いものにする方法を学びます。Google をはじめとするさまざまな企業の実証研究の知見とそこから生まれたツールをご紹介します。新しい働き方の導入方法をご紹介します。
45	未知の課題に立ち向かう：課題設定力向上のすすめ	1.5	1	DXプロジェクトの成功には、ビジネス課題を見抜く鋭い洞察力が必要です。思い描く理想に到達するために、視座、視野、視点の観点から広範な事象を俯瞰し、本質的な課題を見極める力が求められています。本コースを通じて、未知の課題に立ち向かうために必要な概念を習得しましょう。
46	事例で学ぶ！デジタル業務改善 2025年度版	1.5	1	DX時代において「生産性向上」や「省力化」が求められる中、具体的に何から着手すればよいのでしょうか。本コースでは、業務効率化の基本的な考え方から、業務フロー改善の企画手法までを分かりやすく解説します。さらに、12の具体的な事例と実践的なツール活用例を紹介し、実際の業務にどのように適用できるのかを学びます。本コースを通じて、自社の業務改善を企画し、生産性向上への第一歩を踏み出しましょう。
47	事例で学ぶ！DX事業立案	3.5	1	本コースは、DXを前提とした事業を立案するための研修である「DX事業立案ワークショップ」の講義部分を動画にしたものです。新規DX事業の企画構想を担当している方向けに、事業立案のポイントを豊富な事例の解説を踏まえながら実践形式で学んでいただけます。
48	事例で学ぶ！DX事業立案：最新事例集（2023年版）	0.5	1	DX事業における最新事例を集め、データ・デジタル活用の観点で7つの要素にわけて紹介します。多くの新しい事例とその要点を理解することができます。DX事業の立案方法について実践形式で解説したコンテンツ「事例で学ぶ！DX事業立案」の事例紹介部分のアップデート版としてご活用ください。 ※本コースは「事例で学ぶ！DX事業立案」の追加コンテンツです。単独でも受講いただけますが、DX事業立案の全体像をつかむため、「事例で学ぶ！DX事業立案」を事前に受講することをおすすめします。
49	事例で学ぶ！衰退産業のビジネスモデル変革	1	1	あらゆる産業で起きている市場変化に対し、ビジネスモデル変革が急速に求められています。衰退産業におけるビジネスモデル変革の成功・失敗事例を通じて、なぜデジタルによるビジネスモデル変革が必要なのかを理解しましょう。本コースを通じて、自社および自身の業務の方向性を振り返ってみてはいかがでしょうか。



ベースライセンス コース一覧 5/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、
今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供修了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
50	ビジネスアナリシス概論：エンタープライズ変革に求められる力	1	1	ビジネスアナリシスとは、事業戦略や経営計画をはじめ、ビジネスの現場で起きるさまざまな課題を分析し、その解決策を明確にしたうえで、社内外の力も借りながら組織変革を実現する活動です。あらゆる企業変革において求められる考え方であるため、近年注目を集めています。本コースでは、ビジネスアナリシスの根幹である要求を明確にする流れをご紹介します。
51	変革マネジメント ～ミドルアップで"壁"を越える～	1	1	DXの取り組みに対し、期待する成果をあまり実感できていないとすれば、それは企業内にさまざまな組織に共通する「壁」が立ちはだかっているのかもしれません。本コースでは、企業変革が進まない要因として、意識、組織、経営の3つの障壁を取り上げ、典型的な症状や構造、それらの「壁」を乗り越えるための各種アプローチをご紹介します。
52	VUCA時代のリーダーシップ	1	1	価値観が多様化し、予測困難になったVUCAの時代では、これまでのやり方が通用しない場面が増えています。「部下が思うように動かない」「成果につながらない」といった場面に直面したとき、リーダーに求められるのは、状況を見極め、ビジョンを示し、価値を生み出す力です。本コースでは、VUCA時代におけるリーダーシップのあり方と、すぐに実践できる具体的な手法を学びます。
53	ビジネス変革を起こすためのブランディング入門	1.5	1	ブランディングについて基本から学びたい人のためのコースです。ブランディングが求められる背景、ブランド体系、ミッション・ビジョン・バリューといったポイントを事例とともに理解し、要件整理から社内外に浸透させるまでをステップごとに見ていきます。最後に自分自身をブランディングする演習で実践力を身につけます。
54	隠れたニーズを掘り起こす！ソリューション提案のための要件定義	1	1	本コースでは、営業担当者として顧客の課題を解決するソリューション提案を行うための基本を学びます。顧客へのヒアリングを通じて「ウオツ」の背景にある本質的な「ニーズ」をつかみ、求められるソリューションの仮説を作り、検証し、提案資料に落とし込むまでの一連の流れを身につけることを目指します。
55	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	1	1	「良い調査」の条件はなんだと思いますか？ 本コースでは、ビジネス調査の基本を学びます。調査設計、PEST、3C、5Forcesといったフレームワークの使い方などを解説し、テクノロジーを活かした調査手法もご紹介します。手順や情報を集める際のポイントを理解し、自信を持って調査を実施できるようになることを目指します。
56	UXデザイン概論 ～ユーザー中心設計を理解する～	1	1	顧客の満足度や利用継続性を向上し、競争優位性を築くのに貢献するUXデザインは、製品やサービスが成功するために極めて重要な観点です。概論編の本コースでは、サービスを企画し、設計・実装に携わる方を対象に、なぜユーザー中心の考え方が必要なのか解説します。UXの基本的な考え方を理解することを目指します。
57	システム開発における業務要件定義の勘どころ	2	1	プロジェクトの成功に不可欠な要件定義のやり方を学びます。要件収集、分析、文書化の方法を習得し、効率的で効果的なシステム設計の基盤を築けます。
58	製造業のためのデータサイエンス活用講座 1：データサイエンスで広がる研究開発と製造の未来	1	1	製造業で研究開発に携わる方が対象です。データサイエンスで実現できることを具体例とともにご紹介します。故障の予測、原因の絞り込み、条件の最適化、時系列データの分析といった事例を通じて、データサイエンスをご自身の業務に活かすイメージをつかみ、はじめの一步を踏み出してください。
59	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	1.5	1	ビジネス職・エンジニア職を問わずセキュリティマネジメントを担う初心者に向けて、セキュリティインシデント対策の考え方と対応方法の概要をお伝えします。DX時代のセキュリティリスクの例を交えながら、事業継続性を高めるための基本的な取り組みについて解説し、自社に引き寄せて考えていただくことをゴールとしています。

ベースライセンス
コース一覧 6/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、
今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供修了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
60	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1	1	プライバシー保護対策は「コスト」ではなく、自社の価値を高めるものです。本コースでは、企業トラブルの事例を通じて注意点を押さえ、法律やリスク低減のフレームワークを学ぶことで、DX推進の守りに強くなることを目指します。サイバーセキュリティに携わる方、パーソナルデータを利活用する方が対象です。
61	機械学習活用プロジェクトの進め方：AWS AI/ML Enablement Series Light Part	4	3	機械学習を自社の製品で活用するためのプロジェクトの進め方を解説します。プロジェクトのビジネス目標設定から評価までの各プロセスで必要になる実装技術に加え、関係する様々な職種の方とのコミュニケーション方法も学びます。Pythonを用いた実装は無料で利用できるAmazon SageMaker Studio Labを使った演習、コミュニケーションはロールプレイによる演習を通じ学びを深めます。 ※本コース受講後、本格的な機械学習モデル開発をAWSで行う場合「AWS で機械学習の開発運用を効率化する：AWS AI/ML Enablement Series Dark Part」の受講を推奨します。
62	ChatGPTではじめる かんたんリサーチ	0.2	1	ChatGPTを初めて使う方向けに、業務で必要な情報を収集し、その信頼性を見極めて、意思決定につなげるためのリサーチの基本を学びます。ChatGPTへの効果的な指示方法から、信頼できる情報を集めるための質問、そして得られた情報を整理して答えを導き出すまでの手順まで、実演を交えて解説します。
63	【アイデミー主催】DXを加速させるためのたった1つのポイント	1	1	2022年4月19日に開催した「DXを加速させるためのたった1つのポイント」セミナーの動画です。
64	【アイデミー主催】利用者向けセミナー～市場価値が高まるDX人材への第一歩～	1.5	1	2021/9/29に実施されたアイデミー主催の利用者向けセミナー動画です。DXの必要性を知り、実際にAidemy Business Cloudのコースに取り組むことで学習スタートの第一歩を踏み出していただくことをテーマとしたセミナーになります。【内容】①DXの必要性、学習の意義の再確認、②Aidemy Business Cloudの「ビジネス統計学入門講座」の演習問題の一部を実施。【このセミナー視聴をお勧めする方】これからDX人材を目指して学習を始められる初学者の方、DXに関してまず何から始めればよいかわれている方。こちらのExcelファイルを使用しますので、あらかじめダウンロードしてお手元にご準備いただいたうえで視聴いただくことをお勧めします。
65	Microsoft Copilot×Wordではじめる文書作成効率化	0.2	1	WordでMicrosoft Copilotを使う基本操作を解説します。AIによる文書のたたき台作成や編集方法を学び、日々の文書作成を効率化しましょう。 本コースでは、Microsoft 365 Copilot Businessプランを用いて解説しています。異なるプランの場合でも基本的な操作や機能は共通していますが、一部の画面表示や利用可能な機能が異なる場合があります。
66	Microsoft Copilot×Excelではじめる表計算効率化	0.2	1	ExcelでMicrosoft Copilotを使う基本操作を解説します。AIのアシストで初心者でもデータ分析の作業をスムーズに進められるようになります。 本コースでは、Microsoft 365 Copilot Businessプランを用いて解説しています。異なるプランの場合でも基本的な操作や機能は共通していますが、一部の画面表示や利用可能な機能が異なる場合があります。
67	AWS で機械学習の開発運用を効率化する：AWS AI/ML Enablement Series Dark Part	6	4	AWSの機械学習サービス、Amazon SageMakerを用いた機械学習の開発運用プロセスを効率化する方法を解説します。機械学習モデルを本番環境へリリースし運用するまでの各プロセスで発生する課題とAmazon SageMakerによる課題解決策を解説します。学習結果やモデルの管理、デプロイ、運用監視といったいわゆるMLOpsと呼ばれる話題を扱います。 ※機械学習モデルの開発・運用を行う前提のため機械学習プロジェクト自体を開始する方法は「AWS で機械学習の開発運用を効率化する：AWS AI/ML Enablement Series Light Part」を受講してください。



ベースライセンス

コース一覧 7/7

※ベースライセンスコースは継続的にアップデートを行っており、今後、コース追加やプロフェッショナルライセンスへの変更、提供修了となる場合があります。

No	コース名	時間	難易度	内容
68	10分でキャッチアップ 生成AIを支えるアーキテクチャとモデル	0.2	1	生成AIを支える3種類の技術を整理し、RNN・CNN・TransformerからGAN・VAE・Diffusion Model、LLMや画像生成AIまでを10分で解説するコースです。
69	10分でキャッチアップ 生成AIコンテンツと著作権	0.2	1	本コースでは、生成AIコンテンツにおける著作権の成立条件と侵害リスクについて解説します。著作権侵害を防ぐために知っておくべき知識や、安全に活用するためのポイント、リスクを抑えるプロンプト設計の考え方で学べます。
70	10分でキャッチアップ RAG	0.2	1	生成AIをビジネスで活用する鍵の1つが、LLMの学習データだけでなく、外部データを参照させる「RAG（Retrieval-Augmented Generation）」という技術です。このコースでは、独自データを根拠に回答するRAGの仕組みと全体像がわかります。
71	Microsoft Copilot×Excelでできる表・グラフ作成効率化	0.2	1	Microsoft CopilotとExcelを組み合わせることで、表やグラフの作成を「指示するだけ」で行える時代になりました。本コースでは、Microsoft Copilotを活用し、表やグラフを作成するためのデータ整理からビジュアルの作成までを解説します。Excelの基本操作を理解しており、ステップアップを目指す人向けのコースです。 ※本コースの内容は Microsoft 365 Copilot Business のライセンスがあることが前提となっています。単純なデータ説明や要約は一部無料機能でも利用できる場合がありますが、社内データを横断的に参照した分析提案や高度なグラフ生成支援を活用するには、有料のMicrosoft 365 Copilot Business ライセンス（一般企業向け）やMicrosoft 365 Copilotライセンス（大企業向け）が必要です。受講前にご確認ください。
72	Microsoft Copilot×Teamsでできる議事録作成効率化	0.3	1	本コースはMicrosoft CopilotとTeamsを活用し、会議の議事録作成のノウハウを学ぶコースです。要点整理をはじめ、実務で役立つ議事録が作れることを目指します。Teamsを日常的に使っており、より効率化したい方向けの内容となっています。 ※本コースの内容はMicrosoft 365 Copilot Businessのライセンスがあることが前提となっています。Teams上でCopilotを使用するには追加ライセンスが必要なため、会社が有料のMicrosoft 365 Copilot Businessを契約しており、またご自身にライセンスが割り当てられているかをご確認ください。



導入実績

知識習得 : Aidemy Business

キヤノン株式会社様

全社員対象のDXリテラシー研修を実施

全社的なDX教育に向けたAidemy Businessの活用 | ニーズに合わせたコンテンツの制作・提供

全社教育の背景



現場主体のDXによる生産性向上



現場社員が、現場でのデジタル技術活用の実現にむけて、社内外の関係者と適切なコミュニケーションができる状態を目指す

全社横断の基礎教育



全社員 約2万5千名を対象に
DXリテラシーを学ぶ研修を実施
(2023年度は 4,000名が本研修受講予定)

学習内容 (全社員共通)

経済産業省が提示する
「DXリテラシー標準」に準じたカリキュラム

一人ひとりがDXに参画して、
成果を発揮するために必要なリテラシー

「DXリテラシー標準」の大項目

マインド・スタンス

新しい価値を生み出す
心構え・姿勢を理解

Why

外部環境の変化・
DXの重要性を理解

How

データ・デジタル技術
の事例・活用方法の理解

What

データ・デジタル技術
の理解

株式会社ニチレイ様

グループDX戦略推進に向けて、全社員を対象にしたデジタル人財育成研修を実施

デジタルリーダーを
修了者から選出

DX ゴールド



DX シルバー

応用
研修

データやデジタル技術を業務・ビジネスに適用するための
企画や検証など、具体的な行動を起こすことができる人財
(研修の一部としてAidemy BusinessとAidemy Practiceをご検討中)

データやデジタル技術を
実際の業務やビジネスに活用できる人財

▶ Aidemy BUSINESS ▶ Aidemy PRACTICE を研修の一部として活用

DX ブロンズ



基礎
研修

業務に必須のデジタルリテラシーを身につけた人財

▶ Aidemy BUSINESS カリキュラム内容

📖 DXに関する知識

📖 デジタル技術の知識/スキル

📖 データ分析スキル
(データサイエンス)

マツダ株式会社様

DXゴールに向けて、全社的なデジタル人材育成を実施

アイデミーが“DX推進パートナー”として、Aidemy Business 全社プランを提供し、組織のデジタル変革をご支援

DXゴール

圧倒的短期間で
価値ある製品やサービスを
社会に提供可能へ！

全社教育の背景

著しく変化するビジネス環境・競合競争に対する戦略として、**組織のデジタル変革**(デジタル人材育成)を決断

▼デジタル人材育成により、下記の組織力を強化

- グローバルでの環境規制などの経営環境の**変化に対する適応能力**
- 自動車産業の新時代「CASE時代」に求められる**新しい価値創造力**

全社員を巻き込む、段階型DX人材育成を実現



全社人材を分類・個別カリキュラム提供

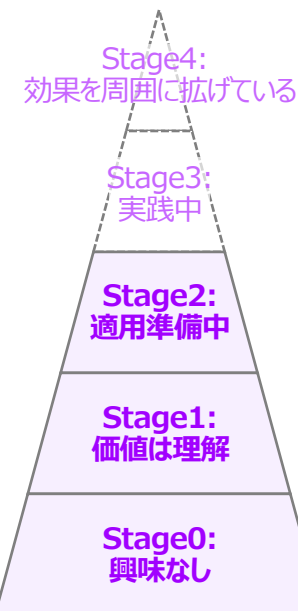
- 対象人材：役員 / ビジネス推進 / モノづくり の3分類
- 学習設計：階層・職種別に、基礎→発展の段階設計
- 学習領域：DX / デジタル技術 / データ分析 / ビジネス



DXリテラシーの全社的な向上を実現

- 導入初期は手上げ制で**全社員に受講機会**を提供
- 現在は新入社員の必修化(**受講率100%**)によりDX人材の基盤を整備しつつ、**Stage4到達者1,000名超**と実務で成果を創出できる人材が定着
- さらに**意欲層には「AI道場」などの高度教育を提供し**、学習対象を重点化した段階的なDX人材育成を推進

DXジャーニー



シスメックス株式会社様

デジタルリテラシーの底上げに向けた、人材像定義・育成を実施

Aidemy Business 導入の背景

課題

DX推進に向け、デジタルリテラシーの全社的な底上げ

状況

- 社内でスキルや人材の定義がなく、育成は各部門任せでバラつきがある
- デジタルスキル学習機会の提供が不十分
- 技術変化に応じた教材を自社開発することは、リソース面から現実的ではない

Aidemy Business 導入の決め手

デジタルスキル標準に準拠した質の高いコンテンツがある

複数サービスを比較し、プラットフォームの使いやすさを評価

動画だけでなく演習付きコースもあり、実践的な学びが可能

自社向けのカリキュラム設計も相談できる柔軟なサポート体制

人材定義

デジタルスキル標準＋自社独自定義による

9つの人材像/レベルを策定・カリキュラム設計



受講結果に基づく
レベル認定の運用

全社員向け

全社員約3,000名に学習機会を提供



ライセンスフリー
コースの活用

専門人材向け

- 9つの人材像に応じた受講希望者を全社掲示板で定期募集し、手上げ制で選定
- DX推進部門の全社育成チームが、受講者をサポート



導入の成果/変化

- **全社員の約20%がデジタル人材像のいずれかのレベルを獲得** (2024年度末時点)
- 全体の**リテラシーレベルの底上げを、定量的に測定できる環境**が整いつつある
- **デジタルスキルをビジネススキルの一つと捉える意識が浸透**
(2025年度からは人事部門とDX推進部門が連携した全社的なリテラシー向上施策の整備が進行中)

コニカミノルタ株式会社様

独自の人材ロール設計にもとづき、DX専門人材 1,000人の育成を実施

導入/継続の背景

背景

「モノからコトへ」ビジネス変革に向けてDX推進を加速 (2015～)

状況

- ・経済産業省の「デジタルスキル標準発表」以前に、独自のロール設計・育成推進
- ・育成継続し、2023年度末には目標の「1,000名規模のDX専門人材」を育成

Aidemy Business への評価

高品質教育コンテンツ かつ
ニーズを反映したコンテンツ更新

実践的なプログラミング学習環境
(手を動かし添削を受けられる)

他社にはない柔軟なライセンスで
1年を通じて 多数社員が効率的に学習可能

受講者・管理者双方に使いやすい
プラットフォーム&課題に寄り添う伴走支援

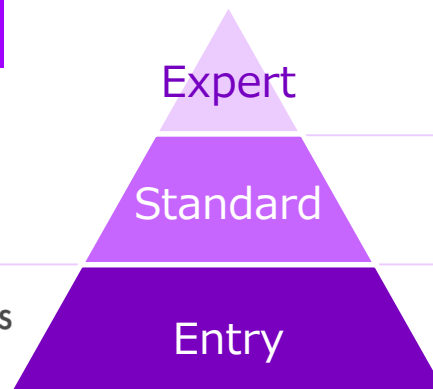
実施内容

手挙げ・推薦制 + 社内認定制度と連動した育成を実施

3段階の育成体系

 Aidemy BUSINESS

2021年から利用



DX専門人材 | 実績・育成

DX専門人材 | 知識・実務経験

DX専門人材 | 知識・スキル習得
新人 | 新人研修

多様なロールに対応し、質の高い知識・スキル習得を 効率的に行う

AIエンジニア



AIエンジニア

データ サイエンティスト



データサイエンティスト



データエンジニア

ソリューションアーキテクト・ディベロッパー



プロダクトオーナー



スクラムマスター



システムアーキテクト



ITアーキテクト



ソリューションディベロッパー



セキュリティエンジニア

キリンホールディングス株式会社様

“受けっぱなし”の脱却 - DX人材育成の再構築による実践定着

DX人材育成「DX道場」の取り組み

2021年にDX人材育成プログラム「DX道場」開始

- DX道場は累計3,800名が受講
- 2025年単体で2,300名の受講、85件のDX案件創出を見込む
- 経営構想「KV2027」「KIRIN Digital Vision 2035」に基づき、デジタル基盤を強化
- 卒業生によるDX案件の立ち上げ・成果創出が進行中

「DX道場」で抱えていた課題

課題

- 受講規模に対して事例数が伸び悩む
- “受けっぱなし”で現場のデジタル活用に結びつかない

状況

下記のボトルネックを解決する必要があった

- 事業戦略と連動していない
- モチベーション維持の難しさ
- リーダーの後押しが不足している

実施内容

DX道場に AidemyBusiness・DPASを組み込み、4つのアプローチを実施

● DPAS ● Aidemy BUSINESS

アプローチ

初回スキルアセスメント

初回受講者を対象に
アセスメント実施

概念学習

キリン-デジタルスキル標準に基づき、体系的学習

実践

実務での実施を想定した
企画演習

スキルアセスメント

プログラム修了に向けた
知識の習得度チェック

- **知識習得にとどまらず、実践につながるカリキュラムを強化**
DXの「巻き込み方・進め方・変革推進」に重点を置いた内容を追加
(オリジナルコースの制作を進行中)

- **リーダー向けカリキュラム**
リーダーの理解促進のため、カリキュラムの整備

- **忙しくても続けられる、柔軟で継続的な学習設計に刷新**
年1回募集から「概論コース 毎月」「実践コース 年4回」に拡充
1年間の受講期間で繰り返し学べる仕組みを整備

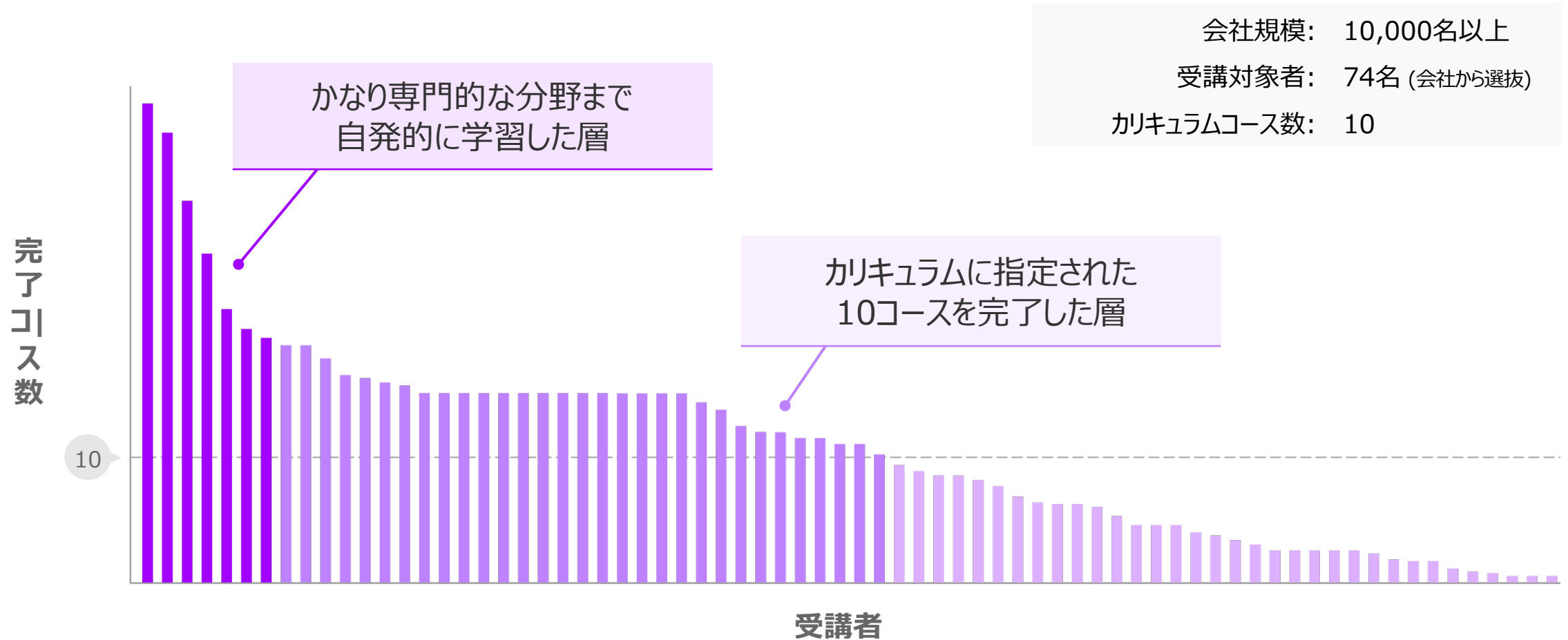
- **DPASによる前後アセスメントで成長を可視化・実感**
習得度を定量的に把握し、
研修改善や人材ポートフォリオにも活用可能に

Apppdendix

A large, stylized white outline of a right-pointing arrow is positioned on the right side of the slide. The arrow is composed of several straight line segments, creating a geometric, blocky appearance. It points towards the right edge of the frame. The background is a solid purple color with a subtle gradient, transitioning from a darker shade on the left to a lighter shade on the right.

DXリーダー人材が見つかる「人材発掘ツール」

導入企業様の受講状況グラフ



Appendix:

人材開発支援助成金

※記載の内容は2023年2月8日現在の状況です。

Aidemy Business等の導入は厚生労働省「人材開発支援助成金」の経費助成対象となり得ます。

	パターン① 人材開発支援助成金 ＞ 事業展開等リスティング支援コース	パターン② 人材開発支援助成金 ＞ 人への投資促進コース ＞ 定額制訓練
対象や特徴	2022年12月に公開された新たな補助コース デジタル・DX化 / グリーン化を推進するための研修 に対する助成	サブスクリプション型の研修サービスを利用する 事業主に対する助成
経費助成率	大企業：60% 中小企業：75%	大企業：45% 中小企業：60% ※「生産性要件」を満たせば、それぞれ+15%の補助を受給可能
1事業所が 1年度中に受けられる 経費助成の上限	1億円	2,500万円

- 以上の2コースの共通する特徴
- 対象となる事業主や従業員に大きな制限はなく、適切に雇用保険料を納入し、労務管理を実施している事業主であれば基本的に受給可能となります。
 - 受給条件は「各支給対象労働者の受講時間(標準学習時間)の合計時間数が、支給申請時において10時間以上」など、他助成金と比較しても非常に柔軟性が高いものになっています。

- 注意点など
- 支給のためには就業時間内に受講させ、かつ受講料を全額会社が負担することが前提となります。
 - 訓練開始日(契約開始日)の1ヶ月前までに必要な様式・添付書類を提出が必要で、訓練終了日の翌日から起算して2か月以内に支給申請が必要で、支給申請後、労働局所定の審査が必要になります。また、助成金の制度は年度の途中でも変更となる場合があります。
 - アイデミーでは顧客の申請等に必要な書類のうち「対象訓練実施者欄」に署名する等のご支援を行います。補助金の支給をお約束することができません。最新の助成金の情報や詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください、**社会保険労務士や管轄労働局までお問い合わせ**をお願いします。

参考情報 厚生労働省 [事業展開等リスティング支援コース概要](#) [事業展開等リスティング支援コース詳細版](#) 厚生労働省 [人への投資促進コース概要](#) [人への投資促進コース詳細版](#)



Appendix:

全社員向け カリキュラム 合計26.6時間

※対応ライセンスの欄は、対応ライセンス：ベース＝ベースライセンス、プロ＝プロフェッショナルライセンス

#	コース名	時間(h)	対応 ライセンス
▼ 新しい価値を生み出す！DXの基礎			
1	10分でキャッチアップ_DXとは	0.2	ベース
2	10分でキャッチアップ_DX推進に必要なスキルとは	0.2	ベース
3	DXリテラシー：マインド・スタンス ～ケーススタディで学ぶ、DXマインドとは？～	1	ベース
4	DXリテラシー：Why ～DXの求められる背景～	1	ベース
5	DXリテラシー：How ～データ・デジタル技術の活用事例と利用方法～	1	ベース
6	DXリテラシー：What（DXで活用されるデータ・技術）データ	1	ベース
7	DXリテラシー：What（DXで活用されるデータ・技術）デジタル技術	1.5	ベース
8	DXリテラシー：How（データ・技術の活用）留意点	1	ベース
9	これだけはおさえたいWord基礎	1	ベース
10	これだけはおさえたいExcel基礎	1	ベース
11	データインプット統一ルールの勧め	1	ベース
12	定型業務を自動化しよう！概論編 RPA入門	1	ベース
13	未知の課題に立ち向かう：課題設定力向上のすすめ	1.5	ベース
14	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	1	ベース
15	変革マネジメント ～ミドルアップで"壁"を越える～	1	ベース
16	ビジネスアナリシス概論：エンタープライズ変革に求められる力	1	ベース
17	ビジネス変革を起こすためのブランディング入門	1.5	ベース
18	事業継続のためのサイバーリスクマネジメント概論	1.5	ベース

#	コース名	時間(h)	対応 ライセンス
▼ 最新技術を業務に活かす！AIの基礎			
19	10分でキャッチアップ_AIにできること	0.2	ベース
20	10分でキャッチアップ_生成AIとは	0.2	ベース
21	10分でキャッチアップ_データサイエンスとは	0.2	ベース
22	10分でキャッチアップ_機械学習とは	0.2	ベース
23	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	1	ベース
24	事例で学ぶ！生成AI組み込みで社内業務効率化	1	ベース
25	10分でキャッチアップ_AIガバナンスとは	0.2	ベース
▼ あらためて確認！ITの基礎			
26	10分でキャッチアップ_コンピュータとは	0.2	ベース
27	10分でキャッチアップ_ソフトウェアとは	0.2	ベース
28	10分でキャッチアップ_ネットワークとは	0.2	ベース
29	10分でキャッチアップ_クラウドとは	0.2	ベース
30	10分でキャッチアップ_サイバーセキュリティとは	0.2	ベース
31	事例で学ぶ！パーソナルデータ活用のためのプライバシー保護	1	ベース
32	10分でキャッチアップ_ITパスポート試験とは	0.2	ベース
▼ おさらいしよう！数学の基礎			
33	ビジネス数学	1	ベース
34	ビジネス統計学入門	2.5	ベース



新入社員向けカリキュラム 合計31.4時間

※対応ライセンスの欄は、対応ライセンス：ベース＝ベースライセンス、プロ＝プロフェッショナルライセンス

#	コース名	時間(h)	対応 ライセンス
▼ 新しい価値を生み出す！DXの基礎			
1	10分でキャッチアップ_DXとは	0.2	ベース
2	10分でキャッチアップ_DX推進に必要なスキルとは	0.2	ベース
3	10分でキャッチアップ_DXに必要なマインド・スタンスとは	0.2	ベース
4	10分でキャッチアップ_DXが求められる背景	0.2	ベース
5	10分でキャッチアップ_DXで活用されるデータとは	0.2	ベース
6	10分でキャッチアップ_データ・デジタル技術の活用方法・事例	0.2	ベース
7	これだけはおさえたいWord基礎	1	ベース
8	これだけはおさえたいExcel基礎	1	ベース
9	データ入力統一ルールの勧め	1	ベース
10	今日から実践！ロジカルシンキング入門	1	プロ
11	社会課題やメガトレンドをつかむ！ビジネス調査入門	1	ベース
12	プロが伝える！新規事業の心構え	1.5	プロ
13	隠れたニーズを掘り起こす！ソリューション提案のための要件定義	1	ベース

#	コース名	時間(h)	対応 ライセンス
▼ 最新技術を仕事に活かそう！AIの基礎			
14	10分でキャッチアップ_AIにできること	0.2	ベース
15	10分でキャッチアップ_生成AIとは	0.2	ベース
16	10分でキャッチアップ_機械学習とは	0.2	ベース
17	10分でキャッチアップ_データサイエンスとは	0.2	ベース
18	ChatGPTで学ぶプロンプトエンジニアリング入門	1	ベース
19	10分でキャッチアップ_AIガバナンスとは	0.2	ベース
▼これだけは知っておこう！ITの基礎			
20	10分でキャッチアップ_コンピュータとは	0.2	ベース
21	10分でキャッチアップ_ソフトウェアとは	0.2	ベース
22	10分でキャッチアップ_ネットワークとは	0.2	ベース
23	10分でキャッチアップ_クラウドとは	0.2	ベース
24	10分でキャッチアップ_サイバーセキュリティとは	0.2	ベース
25	10分でキャッチアップ_ITパスポート試験とは	0.2	ベース
26	ITパスポート試験対策 1（ストラテジ系 経営全般）	5	プロ
27	ITパスポート試験対策 2（マネジメント系 IT管理）	3	プロ
28	ITパスポート試験対策 3（テクノロジー系 IT技術）	8	プロ
▼ おさらいしよう！数学の基礎			
29	ビジネス数学	1	ベース
30	ビジネス統計学入門	2.5	ベース

無料トライアルのご案内

＼ ご商談企業様限定 ／

資料では伝わらない、“使って納得”の体験を。
だからこそ、使って実感してほしい無料トライアルです



**受講制限なし！
270以上の全コースが対象**

トライアルでも本番環境と変わらない
受講体験をご用意



**少人数からOK！
1名でも開始可能**

トライアル人数・期間は
柔軟にカスタマイズ可能



何度でも再実施OK！

「もう1度試したい」にも対応。
競合は1社1回までが一般的な中、
弊社は何度でも！

「本当に現場で使えるか？」を見極めてから導入判断できます！
お気軽にお申しつけください。

Appendix:

Aidemy Business 紹介動画

サービス紹介（再生時間3分）

人材を起点にDXを推進
AI/DX人材育成e-learning「Aidemy Business」

AI/DX研修プラットフォーム

Aidemy BUSINESS
Part of Accenture

ユーザー数35万人超 ※

環境構築不要でプログラミング学習可能

- パーソナルAIアシスタント「My Aide」で強力かつリアルタイムで学習サポート
- 専任担当による手厚いサポート体制

※「Aidemy」サービスの累計ユーザー数です。

Copyright © 2026 Accenture. All rights reserved.

12

<https://youtu.be/nc76pCkRqBc>

受講者機能紹介（再生時間3分）

My Aide コース内質問回答機能

Aidemy Business で学習中に生じた疑問を、即座に解消するAIチャットボットです。テキスト、動画、コード問題いずれのエクササイズでも利用可能です。

利用方法

- 1 コース受講画面右下の「My Aideマーク」ボタンをチャット画面を開く
- 2 入力欄に質問を入力し、送信ボタンをクリック

注意事項

- PCのみに対応
※タブレットやモバイルでは対応しません。
- プロフェッショナルライセンスが有効な場合のみ利用可能
※所属環境の契約が有効な場合でもプロフェッショナルライセンスが付与されていない、もしくは期間外の場合は利用できません。

Copyright © 2026 Accenture. All rights reserved.

10

<https://youtu.be/wtfJ4A1vGHE>

管理者機能紹介（再生時間3分）

6. 進捗確認

b-1. 画面上での確認（ホーム）

左メニューの「ホーム」画面にて、学習の進捗内容を確認できます。

PDFダウンロード
ホーム画面の表示内容をPDFとして出力できます。

各グラフからわかる数字

1. 14日以上学習進捗のないメンバー
「最終学習日：14日以上なし」かつ「受講ライセンスあり」のメンバー
2. アクティブユーザー数
該当日に1日以上学習問題を完了したメンバーの数
3. カリキュラム別カリキュラム進捗率
4. 所属別カリキュラム進捗率
5. 受講者カリキュラム進捗率ランキング
6. 受講者完了コース数ランキング
7. 各コースの受講者数・受講者のコース評価
コース評価は、コース終了後のアンケート回答結果の平均値

※ホーム画面に表示されているデータは毎日1回、午前3時ごろに更新されます。表示されるデータはその更新タイミングで最新のものとなります。

Copyright © 2026 Accenture. All rights reserved.

22

<https://youtu.be/9erdXu7BL04>

